

消防年報

(第44号)

令和2年版



大隅曾於地区消防組合 消防本部

令和3年刊行

はじめに

消防年報【令和2年版】をここに刊行いたします。

本書は、大隅曾於地区消防組合（曾於市・志布志市・曾於郡大崎町）の消防現況及び消防業務に関する事項を収録し、消防行政の合理的な運営と管内住民の皆様には消防事情を紹介するために編集したものです。

なお、この消防年報の統計資料は、火災・救助・救急等に関する事項については暦年（1月から12月）で、予算及び予防業務に関する事項については年度中（4月から3月）で表し、それ以外のものについては該当表にそれぞれ記載した年月日現在をもって表してあります。

令和3年7月

大隅曾於地区消防組合

大隅曾於地区消防組合

組
合
訓

一 郷土を愛し奉仕する心

一 和で築く明るい職場

一 創造し躍進する消防

目 次

総 括

1. 位置及び概況	1
2. 人口・世帯数及び面積	1
3. 消防組合の地域図	2
4. 消防組合の施設の状況	3
5. 消防組合の沿革	4～10
6. 消防組合の組織	11

消防組合の現況

1. 消防組合の事務分掌	12～13
2. 消防職員	14～17
3. 消防機械	18～19
4. 通信施設	20～22
5. 消防財政	23～24

予 防 業 務

1. 防火対象物・査察等	25～26
2. 建築確認同意事務	26
3. 防火管理について	27～29
4. 危険物関係事務	30～31
5. 広報	32～33
6. 防火クラブの状況	34

火 災 状 況

1. 火災の概況	35～39
2. 火災の原因	40
3. 火災発生状況比較(出火率)	40
4. 気象概況	41～42

救 助 状 況

1. 救助の概況	43
----------	----

救 急 状 況

1. 月別救急出場件数	44
2. 事故種別搬送人員	45
3. 年齢別搬送人員	45
4. 市町別救急出場状況	46
5. 救急覚知状況	47
6. 傷病の程度	47
7. 収容所要時間状況	48
8. 曜日別出場状況	49
9. 急病の疾病別搬送人員	49
10. 発生時刻別出場状況	50
11. 収容先医療機関の所在地調べ	51
12. 電話転送回数状況	52
13. 転送者に関する調べ	52
14. 普通救命講習受講者調べ	53

消 防 団

1. 管内消防団現勢	54～55
2. 消防団員の年齢及び在職年数	56
3. 消防団員の報酬及び費用弁償	57
4. 消防水利	57
5. 消防団支援状況	57

総 括

1. 位 置 及 び 概 況
2. 人 口 ・ 世 帯 数 及 び 面 積
3. 消 防 組 合 の 地 域 図
4. 消 防 組 合 の 施 設 の 状 況
5. 消 防 組 合 の 沿 革
6. 消 防 組 合 の 組 織

1. 位置及び概況

大隅曾於地区消防組合は、鹿児島県大隅半島の東部に位置し、東は宮崎県、西は大隅肝属地区消防組合及び霧島市消防局に隣接し、南には志布志湾をひかえ、北は霧島連山につながる781平方キロメートル、南北40キロメートル、東西32キロメートルにおよぶ地域であります。

中央部に国道269号線が南北に走り、南部の海岸線沿いに国道220号線、北部の財部、末吉境に国道10号線が東西にのびており、また、東九州自動車道末吉財部インターが平成14年3月に、曾於弥五郎インターが平成22年3月に、野方インターが平成26年12月に、大崎インター、志布志有明インター及び志布志インターが令和3年7月に供用開始されております。

管轄区域は、曾於市、志布志市及び曾於郡大崎町の2市1町で構成され、人口おおむね8万人、4万世帯にのぼります。

なお、肥沃な土地を利用して、米作り・畜産・園芸などの農業経営が盛んに行われています。

今後、東九州自動車道や志布志湾の整備により、南に面した玄関口、南九州の物流拠点基地として、ますます発展していくものと期待されています。

さらに、当地域の各構成市町には、海、山、川の豊かな自然を活かしたキャンプ場や温泉施設等が整備され、交流と安らぎを与える場所となっています。

2. 人口・世帯数及び面積

(令和3年4月1日現在)

署所区分 (出動対応)	構成市町	人口(人)	世帯数	面積 (km ²)	人口密度 (1km ² 当)
曾於消防署	曾於市大隅町	9,626	5,121	145.58	66
	志布志市松山町	3,864	1,907	49.81	78
財部分署	曾於市財部町	8,108	4,091	115.72	70
末吉救急分駐所	曾於市末吉町	17,115	8,525	129.09	133
志布志消防署	志布志市志布志町	16,220	8,491	142.15	114
	志布志市有明町	10,562	5,069	98.05	108
大崎分署	曾於郡大崎町	12,755	6,702	100.82	127
合計		78,250	39,906	781.22	100

曾於消防署は、曾於市末吉町、志布志市有明町及び曾於郡大崎町の一部を含む。

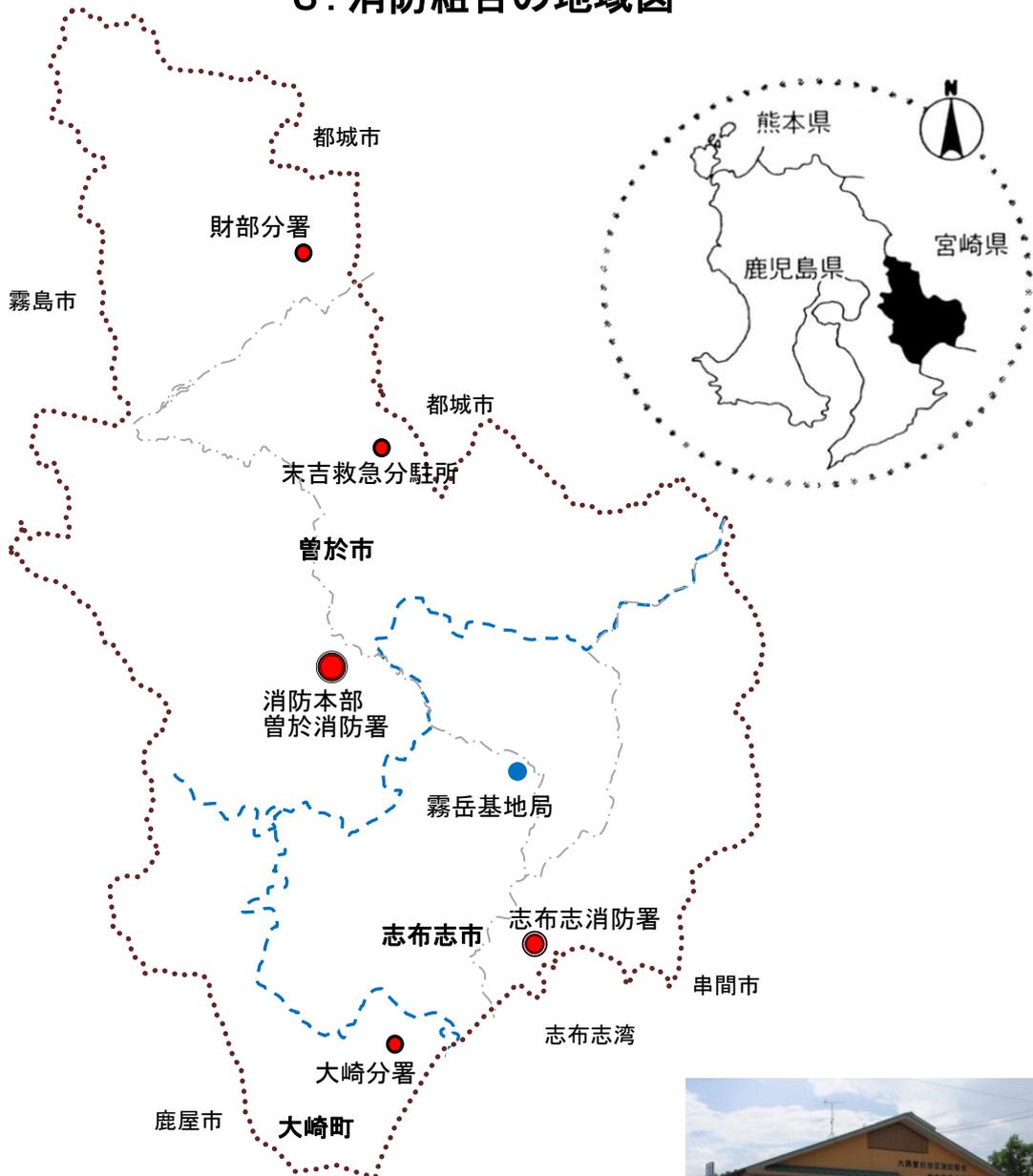
財部分署は、曾於市末吉町の一部を含む。

末吉救急分駐所は、曾於市大隅町の一部を含む。

志布志消防署は、志布志市松山町の一部を含む。

大崎分署は、志布志市有明町の一部を含む。

3. 消防組合の地域図



消防本部・曾於消防署



財部分署



末吉救急分駐所



志布志消防署



大崎分署



霧岳基地局

4. 消防組合の施設の状況

No.	施設名称 及び所在地	区分及び 建築年月日	構造及び 延べ面積	管理区分
1	消防本部 〒899-8102 曾於市大隅町岩川5950番地 通信指令室 TEL 099-482-0119 FAX 099-482-5712 総務課 TEL 099-482-0569 FAX 099-482-2712 警防課 TEL 099-482-0579 FAX 099-482-5712 予防課 TEL 099-482-5577 FAX 099-482-2712	庁舎 H25. 12. 24	鉄筋コンクリート造 546. 17 m ²	消防組合
		車庫 H26. 2. 21	鉄骨造 166. 01 m ²	
2	霧岳消防デジタル無線局舎 志布志市有明町伊崎田字園畑6429 番地5	局舎 H26. 3. 31	鉄骨鉄筋コンクリート造 構築物 3. 6m×3. 0m	消防組合
		鉄塔 H26. 3. 31	金属造のもの 構築物	
3	曾於消防署 〒899-8102 曾於市大隅町岩川5950番地 TEL 099-482-0559 FAX 099-482-0581	庁舎 H24. 3. 15	鉄筋コンクリート造 1, 269. 83 m ²	曾於市
		訓練棟 H24. 3. 15	鉄筋コンクリート造 169. 82 m ²	
4	財部分署 〒899-4101 曾於市財部町南俣11366番地1 TEL 0986-72-0119 FAX 0986-72-2809	庁舎 H31. 3. 20	鉄筋コンクリート造 235. 49 m ²	曾於市
5	末吉救急分駐所 〒899-8605 曾於市末吉町二之方1851番地2 TEL 0986-76-9119 FAX 0986-76-9119	庁舎 H22. 3. 24	木造 153. 87 m ²	曾於市
6	志布志消防署 〒899-7103 志布志市志布志町志布志428番地2 TEL 099-472-0119 FAX 099-472-0134	庁舎 H24. 3. 30	鉄筋コンクリート造 1, 605. 61 m ²	志布志市
		訓練棟 H24. 3. 30	鉄筋コンクリート造 260. 00 m ²	
7	大崎分署 〒899-7309 曾於郡大崎町井俣2442番地4 TEL 099-476-0119 FAX 099-476-0119	庁舎 H22. 3. 24 H28. 11. 14増築	木造 235. 30 m ² (うち増築68. 55 m ²)	大崎町

5. 消防組合の沿革

(1) 消防組合発足までの経過

年 月 日	経 過
昭和 46. 12. 6	大隅広域市町村圏協議システム議決（域内一本化1署17分署）〔第1案〕
昭和 50. 1. 24	事務局によるタタキ台を協議（4ブロック編成）〔第2案〕 注 第1ブロック 大隅・輝北・財部・末吉・松山町 第2ブロック 志布志・有明・大崎町 第3ブロック 大根占・根占・田代・佐多町 第4ブロック 鹿屋市外5町
7. 17	第4ブロック長会議（4ブロックを2ブロックに）〔第3案〕
昭和 51. 1. 12	都城北諸県広域市町村圏協議会と協議（広域消防システム，医療対策）
3. 11	救急医療機関対策について陳情
3. 19	曾於郡医師会長と協議（救急医療機関対策について）
7. 17	大隅広域市町村圏協議会（消防システム決定）
9. 8	大隅曾於地区消防組合同規約案決定（郡内町長，議長合同会議）
11. 27	社団法人日本自動車工業会から救急車寄贈
12. 26	職員採用試験 申込者 319名 受験者 253名
昭和 52. 2. 5	消防本部，署義務設置町村の政令指定（内定）について県から通知

(2) 発足後の経過

年 月 日	経 過
昭和 52. 4. 1	消防組織法第10条に規定する政令指定（自治省告示第73号） ・大隅曾於地区消防組合発足 ・消防長 時任純一郎氏就任（初代） ・消防吏員採用辞令交付 54名 ・消防本部及び北部消防署の開設 （大隅町商工会横元大隅警察署武道場を事務所として救急隊1隊で業務開始）
4. 3	組合初議会 管理者 盛田政義氏就任（初代）
4. 20	南部消防署の開設（有明町押切の「プレハブ」事務所に救急隊1隊で業務開始）
5. 18	査察広報車2台配備（消防本部及び南部消防署に配備）
7. 19	消防自動車2台配備（北部消防署及び南部消防署）
9. 17	消防庁舎新築工事起工（消防本部，北部消防署及び南部消防署）
9. 27	串木野市から救急車（中古）寄贈
昭和 53. 1. 10	日本損害保険協会から救急車寄贈
3. 18	消防本部及び両消防署新庁舎移転（南部消防署17日）
3. 27	鹿児島県共済農業協同組合連合会から救急車寄贈
4. 1	財部分署開設（仮庁舎財部町公民館） 輝北分署開設（仮庁舎旧家畜管理所）救急業務開始
4. 20	消防本部，北部消防署及び南部消防署落成式
5. 1	職員8名採用 職員合計62名
5. 31	本部に指揮車配備
10. 3	財部分署庁舎新築工事起工式
10. 4	輝北分署庁舎新築工事起工式

年 月 日	経	過
昭和 53. 12. 5	輝北分署及び財部分署庁舎完成	
昭和 54. 2. 3	輝北分署及び財部分署落成式	
2. 27	管理者 桑元善次氏就任 (第2代)	
4. 1	職員2名採用 職員合計64名	
5. 9	119移設 南部消防署 (有明町含有線放送)	
昭和 55. 3. 25	119移設 南部消防署 (志布志町・大崎町)	
3. 26	119移設 北部消防署 (大隅町・末吉町・松山町)	
4. 1	職員2名採用 職員合計66名	
昭和 56. 2. 25	ミニ車 (小型ポンプ積載) 財部分署配備	
8. 29	ミニ車 (小型ポンプ積載) 輝北分署配備	
昭和 57. 3. 15	垂水市と消防救急業務相互応援協定締結	
3. 18	第9回県組合消防運営協議会開催 (本部担当)	
4. 1	職員4名採用 職員合計70名	
6. 30	消防長 時任純一郎氏退職 (初代)	
7. 1	消防長 逆瀬川幸雄氏就任 (第2代)	
昭和 58. 2. 27	管理者 坂口信雄氏就任 (第3代)	
4. 1	職員2名採用 職員合計72名	
昭和 59. 4. 1	職員2名採用 職員合計74名	
11. 20	119移設 (輝北町 22日開始)	
昭和 60. 4. 1	職員2名採用 職員合計76名	
昭和 61. 2. 28	南部消防署にポンプ車配備	
3. 20	南部消防署にはしご車30m級配備	
4. 1	職員2名採用 職員合計78名	
昭和 62. 1. 21	管理者 坂口信雄氏死去 (第3代)	
3. 7	管理者 永野静夫氏就任 (第4代)	
4. 1	職員3名採用 職員合計80名	
昭和 63. 3. 23	北部消防署に救助工作車配備 資機材納品	
3. 31	消防長 逆瀬川幸雄氏退職 (第2代)	
4. 1	消防長 橋口十七氏就任 (第3代)	
平成 3. 2	管理者 永野静夫氏就任 (第5代)	
平成 4. 4. 1	職員1名採用 職員合計80名	
平成 5. 4. 1	職員5名採用 職員合計84名	
平成 6. 3. 31	消防長 橋口十七氏退職 (第3代)	
4. 1	消防長 加藤光三郎氏就任 (第4代) 職員5名採用 職員合計89名	
5. 25	総合整備計画プロジェクトチーム発足	
10. 5	第7期救急救命東京研修所入所	
平成 7. 2	管理者 永野静夫氏就任 (第6代)	
4. 1	職員4名採用 職員合計93名	
4. 5	第1期救急救命九州研修所入所	
12. 4	総合整備計画議決 (第2回定例会)	
平成 8. 3. 31	消防長 加藤光三郎氏退職 (第4代)	

年 月 日	経	過
平成 8.	4. 1	消防長 遠矢三夫氏就任 (第 5 代)
	9. 9	救急・防災総合訓練 (志布志町)
	10. 1	消防職員委員会設置
平成 9.	3. 31	消防長 遠矢三夫氏退職 (第 5 代)
	4. 1	消防長 八久保紘鳳氏就任 (第 6 代) 職員 4 名採用 職員合計 96 名
	5. 13	消防組合発足 20 周年記念式典開催
	9. 9	救急・防災総合訓練 (輝北町)
平成 10.	3. 10	消防緊急通信指令室完成
	3. 31	消防長 八久保紘鳳氏退職 (第 6 代)
	4. 1	消防長 上野淳一氏就任 (第 7 代) 職員 3 名採用 職員合計 99 名
	9. 9	救急・防災総合訓練 (松山町)
平成 11.	2. 15	管理者 桂次雄氏就任 (第 7 代)
	4. 1	消防緊急通信指令室運用開始
	4. 1	職員 3 名採用 職員合計 102 名
	9. 9	救急・防災総合訓練 (大崎町)
平成 12.	3. 31	消防長 上野淳一氏退職 (第 7 代)
	4. 1	消防長 佐々木良昭氏就任 (第 8 代) 職員 4 名採用 職員 103 名
	9. 7	曾於地区総合防災訓練 (財部町)
平成 13.	2. 1	南部署に高規格救急車配備 (第 1 号)
	4. 1	職員 5 名採用 職員合計 107 名
	5. 15	鹿児島県総合防災訓練 (あすばる大崎)
	11. 2	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (佐賀県)
平成 14.	2. 1	北部署に高規格救急車配備 (第 2 号)
	9. 5	曾於地区総合防災訓練 (末吉町)
	11. 6	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (鹿児島県)
平成 15.	2	管理者 桂次雄氏就任 (第 8 代)
	3. 31	消防長 佐々木良昭氏退職 (第 8 代)
	4. 1	消防長 重田嘉康氏就任 (第 9 代)
	9. 4	曾於地区総合防災訓練 (有明町)
	9. 30	3 本部消防合同訓練 (大隅肝属・垂水市・大隅曾於)
	10. 8	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (宮崎県)
平成 16.	1. 1	グループウェア・救急統計システム運用開始
	2. 1	財部分署に高規格救急車配備 (第 3 号)
	4. 1	職員 1 名採用 職員合計 107 名
	8. 26	救助技術指導会全国大会出場 1 名出場 (はしご登はんの部 (兵庫県三木市))
	9. 8	曾於地区総合防災訓練 (大隅町)
	10. 6	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (熊本県)
平成 17.	1. 26	輝北分署に高規格救急車配備 (第 4 号)
	4. 1	職員 2 名採用 職員合計 108 名
	6. 30	管理者 桂次雄氏退任 (第 8 代)
	7. 1	大隅町・財部町・末吉町合併「曾於市」発足
	8. 18	管理者 池田孝氏就任 (第 9 代)

年 月 日	経	過
平成 17. 8. 25	救助技術指導会全国大会出場 1 名出場 (はしご登はんの部 (埼玉県))	
11. 10	第 2 回屋内消火栓操法大会	
平成 18. 1. 1	松山町・志布志町・有明町合併「志布志市」発足	
1. 1	輝北町が鹿屋市他 2 町と合併「鹿屋市」発足	
4. 1	職員 3 名採用 職員合計 111 名	
9. 5	曾於地区総合防災訓練(志布志市志布志町)	
10. 21	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練(福岡県)	
11. 10	第 3 回屋内消火栓操法大会	
平成 19. 3. 27	はしご車(更新)運用開始式	
3. 31	消防長 重田嘉康氏退職 (第 9 代) 職員 3 名退職	
4. 1	消防長 吉元信雄氏就任 (第 10 代)	
4. 1	職員 3 名採用 職員合計 110 名	
5. 27	曾於地区総合防災訓練 (曾於市財部町)	
8. 22	救助技術指導会全国大会 1 名出場 (はしご登はんの部 (東京都))	
10. 16	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練 (大分県中津市)	
11. 13	第 4 回屋内消火栓操法大会	
平成 20. 3. 31	輝北分署閉署式	
3. 31	消防長 吉元信雄氏退職 (第 10 代) 職員 2 名退職	
4. 1	消防長 仮屋正文氏就任 (第 11 代)	
4. 1	職員 2 名採用 職員合計 104 名	
4. 10	平成 20 年度鹿児島県消防長会春季総会 (志布志市志布志町)	
4. 11	第 31 回鹿児島県消防職員意見発表会 (志布志市志布志町)	
5. 7	新任消防長研修 消防長入校 (県消防学校)	
5. 21	新任消防長・学校長科 消防長入校 (消防大学校)	
8. 31	曾於地区総合防災訓練 (大崎町)	
11. 12	第 5 回屋内消火栓操法大会	
平成 21. 1. 5	北部署救助工作車更新 運用開始	
3. 31	職員 1 名退職	
4. 1	職員 4 名採用 職員合計 107 名	
4. 14	末吉救急分駐隊試行運用開始	
8.	管理者 池田孝氏就任 (第 10 代)	
9. 2	「大隅曾於地区住宅用火災警報器設置推進対策本部」設置	
9. 5	曾於地区総合防災訓練 (志布志市松山町)	
10. 9	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (佐賀県佐賀市)	
10. 28	大崎救急分駐所建設着工	
11. 12	第 6 回屋内消火栓操法大会	
11. 20	南部消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 (II 型) 更新配備	
12. 10	末吉救急分駐所建設着工	
平成 22. 3. 24	末吉・大崎救急分駐所完成, 引き渡し	
3. 31	職員 3 名退職	
4. 1	職員 6 名採用 職員合計 110 名	
4. 1	末吉・大崎救急分駐所開所並びに運用開始	

年 月 日	経 過
平成 22. 7. 23	消防本部人員搬送車更新配備
10. 1	携帯電話・IP電話位置情報通知システム導入及び消防緊急通信指令施設部分更新運用開始
10. 8	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（鹿児島県薩摩川内市）
10. 20	山岳遭難救助研修1名入所（富山県国立登山研修所）
11. 12	第7回屋内消火栓操法大会
平成 23. 1. 12	北部消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新配備 C A F S（圧縮空気発泡装置）搭載
3. 14	東北地方太平洋沖地震（3. 11）に伴う緊急消防援助隊派遣（～3. 22） 救助隊1隊5名，後方支援隊1隊3名の計8名が宮城県石巻市にて活動
3. 31	消防長 仮屋正文氏退職（第11代） 職員4名退職
4. 1	消防長 松永貞人氏就任（第12代）
4. 1	職員13名採用 職員合計119名
6. 27	曾於消防署起工式
9. 4	曾於地区総合防災訓練（曾於市末吉町）
10. 3	志布志消防署起工式
11. 4	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（宮崎県宮崎市）
11. 11	第8回屋内消火栓操法大会
平成 24. 3. 31	職員4名退職
4. 1	職員6名採用 職員合計119名
4. 2	曾於消防署開署式
4. 24	志布志消防署開署式
5. 25	志布志消防署ヘリポート運用開始式
8. 27	第92期予防科1名入校（消防大学校）
9. 2	曾於地区総合防災訓練（志布志市有明町）
10. 29	消防本部指揮車導入配備
11. 4	親子ふれあいフェスティバル in 志布志消防署
11. 17	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（熊本県八代市）
平成 25. 3. 31	職員3名退職
4. 1	職員3名採用 職員合計119名
4. 16	志布志消防署県知事視察
5. 9	第36回九州地区消防職員意見発表会出場（久留米市）
6. 13	消防本部庁舎起工式及び安全祈願祭
7. 30	管理者 池田孝氏退任（第10代）
8. 9	管理者 五位塚剛氏就任（第11代）
9. 1	曾於地区総合防災訓練（曾於市大隅町）
10. 23	第94期警防科1名入校（消防大学校）
11. 17	親子ふれあいフェスティバル in 志布志消防署
11. 24	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（沖縄県）
12. 26	消防本部庁舎引渡式
平成 26. 3. 28	本部庁舎・通信指令施設・無線デジタル化運用開始式
3. 31	消防長 松永貞人氏退職（第12代） 職員5名退職
4. 1	消防長 小野四男氏就任（第13代）

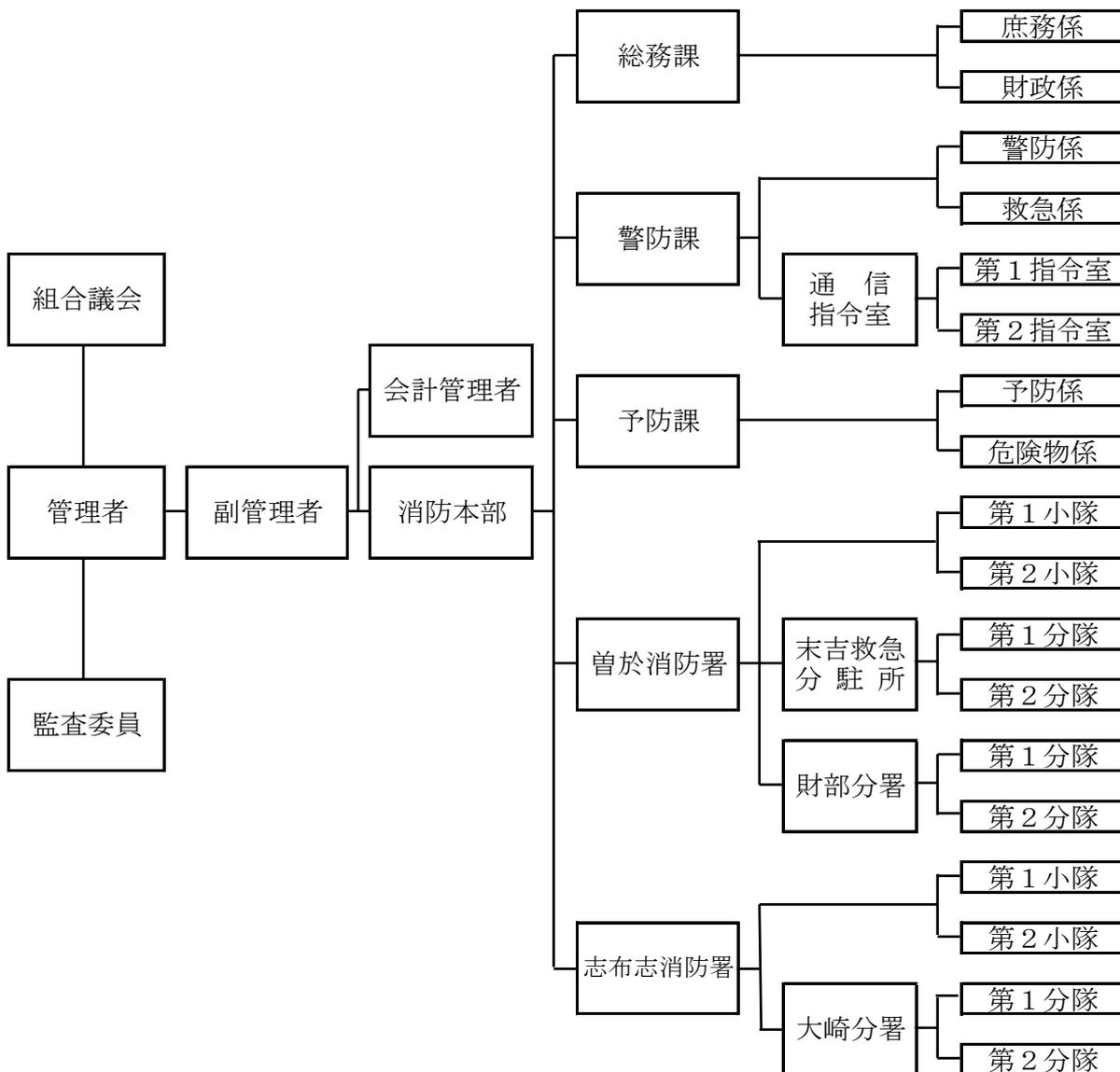
年 月 日	経 過
平成 26. 4. 1	鹿児島県防災航空隊職員 1 名派遣
4. 1	職員 6 名採用 職員合計 119 名
11. 16	親子ふれあいフェスティバル in 曾於消防署
11. 22	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (福岡県久留米市)
平成 27. 2. 25	大崎救急分駐所高規格救急自動車更新配備
3. 31	消防長 小野四男氏退職 (第 13 代) 職員 5 名退職
4. 1	消防長 西本修一氏就任 (第 14 代)
4. 1	職員 6 名採用 職員合計 119 名
10. 21	第 98 期警防科 1 名入校 (消防大学校)
11. 1	親子ふれあいフェスティバル in 志布志消防署
11. 7	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (大分県佐伯市)
11. 27	曾於消防署指揮車更新配備
平成 28. 2. 16	財部分署高規格救急車更新配備
2. 25	財部分署ポンプ車更新配備 (CD-1 CAFS)
3. 31	職員 2 名退職
4. 1	職員 4 名採用
4. 16	熊本地震 (前震 4. 14, 本震 4. 16) に伴う緊急消防援助隊派遣 (~ 4. 25)
8. 28	曾於地区総合防災訓練 (曾於郡大崎町)
10. 19	第 32 期火災調査科 1 名入校 (消防大学校)
11. 5	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練 5 名参加 (長崎県雲仙市)
11. 20	親子ふれあいフェスタ in 曾於消防署
12. 15	志布志消防署指揮車更新配備
平成 29. 2. 1	大崎分署ポンプ車 (CD-1 CAFS) 新規配備
2. 3	大崎分署開署式
3. 31	職員 2 名退職
4. 1	職員 2 名採用 職員合計 119 名
4. 12	第 75 期救助科 1 名入校 (消防大学校)
8. 7	管理者 五位塚剛氏就任 (第 12 代)
9. 3	曾於地区総合防災訓練 (志布志市松山町)
11. 11	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練 5 名参加 (佐賀県武雄市)
11. 19	親子ふれあいフェスタ in 志布志消防署
平成 30. 1. 18	志布志消防署高規格救急車更新配備
3. 31	消防長 西本修一氏退職 (第 14 代) 職員 3 名退職
4. 1	消防長 濱脇敏盛氏就任 (第 15 代)
4. 1	職員 3 名採用 職員合計 119 名
4. 4	第 81 期初任教育 3 名入校
4. 12	操法大会指導員研修 10 名入校 (県消防学校)
7. 20	第 47 回九州地区消防救助技術指導会 (大分市)
8. 26	親子ふれあいフェスタ in 曾於消防署

平成 30.	10. 2	第 23 期救助科 2 名入校（県消防学校）	
	10. 18	第 36 期火災調査科 1 名入校（消防大学校）	
	11. 10	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（志布志市，東串良町）	
	11. 13	第 13 期火災調査科 2 名入校（県消防学校）	
	12. 6	第 21 期初級幹部科 2 名入校（県消防学校）	
	12. 14	志布志消防署資機材搬送車更新配備	
平成 31.	1. 9	第 10 期予防査察科 2 名入校（県消防学校）	
	1. 28	第 25 期救急科 2 名入校（県消防学校）	
	2. 4	九州地区大規模災害対応実務研修会 1 名参加（福岡市消防学校）	
	3. 22	志布志消防署救助工作車更新配備	
	3. 28	財部分署新庁舎引渡し・移転運用開始	
	3. 31	消防長 濱脇敏盛氏退職 職員 3 名退職	
	4. 1	消防長 川野耕作氏就任（第 16 代）	
	4. 1	職員 3 名採用 職員合計 119 名	
	4. 3	第 82 期初任教育 3 名入校	
令和元.	11. 9	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（宮崎県西諸県郡高原町・都城市）	
令和 2.	1. 27	第 26 期救急科 2 名入校（県消防学校）	
	3. 17	曾於消防署資機材搬送車更新配備	
	3. 31	消防長 川野耕作氏退職 職員 1 名退職	
	4. 1	消防長 川崎浩氏就任（第 17 代）	
	4. 1	職員 1 名採用 職員合計 117 名	
	4. 6	第 83 期初任教育 1 名入校	
	8. 5	第 1 回組合議会臨時会	
	8. 25	決算審査	
	9. 18	消防職員委員会	
	10. 18	消防吏員採用試験（1 次）	
	10. 13	甲種防火管理者資格取得講習会（14 日まで）	
	10. 15	甲種防火管理者資格取得講習会（16 日まで）	
	11. 18	第 15 期火災調査科 2 名入校（県消防学校）	
	11. 21	消防吏員採用試験（2 次）	
	11. 24	第 2 回組合議会定例会	
	12. 9	第 22 期初級幹部科 2 名入校（県消防学校）	
	12. 17	衛生委員会・安全関係者会議	
	令和 3.	1. 7	第 12 期予防査察科 2 名入校（県消防学校）
		1. 26	第 27 期救急科 3 名入校（県消防学校）
		2. 18	第 1 回組合議会定例会
3. 10		消防本部人員搬送車更新配備	
3. 11		曾於消防署高規格救急車更新配備	
3. 31	消防長 川崎浩氏退職 職員 2 名退職		

6. 消 防 組 合 の 組 織

(1) 組織図

(令和3年4月1日現在)



(2) 役職者氏名

(令和3年4月1日現在)

職 務	氏 名	職 務	氏 名	職 務	氏 名
管 理 者	五位塚 剛	曾 於 消 防 署 長	野 村 俊 二	議 長	東 宏 二
副 管 理 者	八 木 達 範	志 布 志 消 防 署 長	吉 松 博 幸	議 員	野 村 広 志
消 防 長	川 畑 武 文	議 員	土 屋 健 一	〃	東 靖 弘
次 長 兼 警 防 課 長	下 出 敬 太 郎	〃	今 鶴 治 信	〃	児 玉 孝 徳
予 防 課 長	日 高 久 幸	〃	迫 杉 雄	監 査 委 員	野 村 行 雄
総 務 課 長	松 下 正 一	〃	下 平 晴 行	〃	下 平 晴 行

消防組合の現況

1. 消 防 組 合 の 事 務 分 掌
2. 消 防 職 員
3. 消 防 機 械
4. 通 信 施 設
5. 消 防 財 政

1. 消防組合の事務分掌

(1) 消防本部の事務分掌

総務課

① 庶務係

- ア 組合議会に関すること。
- イ 公印の保管に関すること。
- ウ 条例, 規則, 規程及び告示並びに公告式に関すること。
- エ 消防本部所管行政の総合調整に関すること。
- オ 例規集の編集に関すること。
- カ 文書の收受, 発送, 保存及び廃棄に関すること。
- キ 職員の職階, 任命, 分限及び懲戒に関すること。
- ク 職員の給与, 勤務時間及びその他勤務条件に関すること。
- ケ 職員の服務, 研修及び教養に関すること。
- コ 公務災害補償及び職員共済組合に関すること。
- サ 職員の衛生管理及び福利厚生に関すること。
- シ 職員の試験及び選考に関すること。
- ス 職員の人事記録に関すること。
- セ 消防職員委員会に関すること。
- ソ 事務分掌に関すること。
- タ 消防協会事務に関すること。
- チ 表彰に関すること。
- ツ その他, 他の係, 課の所掌に属さない事務の処理に関すること。

② 財政係

- ア 予算に関すること。
- イ 物品の購入, 出納, 保管及び処分に関すること。
- ウ 被服, 給与品及び貸与品に関すること。
- エ 給料, 賃金及び諸手当の支払に関すること。
- オ 決算に関すること。
- カ 組合財産の記録及び総括に関すること。
- キ 組合財産の取得及び処分に関すること。
- ク 消防本部庁舎その他財産の維持管理に関すること。
- ケ 所得税の源泉徴収及び县市町民税の特別徴収に関すること。
- コ 国県補助金に関すること。
- サ 組合債に関すること。
- シ 契約に関すること。

- ス 備品の使用管理に関すること。
- セ 不用品の処分に関すること。
- ソ 車両等の燃料に関すること。

警防課

① 通信指令係

- ア 災害並びに救急業務に係る受報及び出動指令に関すること。
- イ 消防隊の統制的指揮運用及び応援要請に関すること。
- ウ 消防通信の計画, 運用及び改善に関すること。
- エ 通信施設設備の保全, 管理及び運用に関すること。
- オ 通信施設の改善及び研究に関すること。
- カ 火災警報に関すること。
- キ 気象情報に関すること。
- ク 各種警報, 情報及び非常招集の伝達に関すること。
- ケ 消防統計の入出力に関すること。
- コ その他消防通信に関すること。

② 警防係

- ア 課内庶務に関すること。
- イ 消防警備計画に関すること。
- ウ 災害現場の観察に関すること。
- エ 非常招集に関すること。
- オ 各種訓練の計画に関すること。
- カ 消防水利及び地理に関すること。
- キ 救助業務に関すること。
- ク 水防計画に関すること。
- ケ 気象情報及び警報発令に関すること。
- コ 相互応援協定に関すること。
- サ 火災及びその他の災害の調査に関すること。
- シ 火災以外の災害調査及び統計に関すること。
- ス リ災証明に関すること。
- セ 消防通信に関すること。
- ソ 通信施設整備の保全, 管理及び運用に関すること。
- タ 通信施設の改善及び研究に関すること。
- チ 消防機械器具の整備及び管理に関すること。

- ツ 消防機械器具の研究及び改善に関すること。
- テ 消防団との連携に関すること。
- ト 統計、調査及び報告に関すること。
- ナ その他警防課の他の係の所掌に属さないこと。

③ 救急係

- ア 救急業務に関すること。
- イ 救急統計及び報告に関すること。
- ウ 医師会及び医療機関等との連絡調整に関すること。
- エ メディカルコントロール協議会に関すること。
- オ 応急手当の普及啓発に関すること。
- カ 職員の救急訓練に関すること。
- キ 患者等搬送事業の指導及び認定に関すること。
- ク 救急の応援協定に関すること。
- ケ 救急告示病院指定の意見書に関すること。
- コ その他救急に関すること。

予防課

① 予防係

- ア 課内庶務に関すること。
- イ 防火管理者の指導及び連携に関すること。
- ウ 火災予防査察に関すること。
- エ 建築同意事務に関すること。
- オ 火災予防の企画に関すること。
- カ 広報活動及び火災予防運動に関すること。
- キ 自衛消防の指導育成に関すること。
- ク 旅館、ホテルの意見書の交付に関すること。
- ケ 消防用設備等の指導に関すること。
- コ 防火対象物の表示及び公表に関すること。
- サ 防火協力団体に関すること。
- シ 統計、調査及び報告に関すること。
- ス 各種証明に関すること。
- セ その他一般火災予防に関すること。
- ソ その他予防課の他の係の所掌に属さないこと。

② 危険物係

- ア 危険物の規制に関すること。
- イ 少量危険物の規制に関すること。
- ウ 指定可燃物の規制に関すること。
- エ 液化石油ガス及び高圧ガスの保安指導に関すること。
- オ 液化石油ガス販売事業許可の意見書交付に関すること。
- カ 火薬類取締法による煙火の消費の許可その他に関すること。
- キ 危険物取扱者及び保安監督者に関すること。
- ク 防火協力団体に関すること。
- ケ 統計、調査及び報告に関すること。

(2) 消防署等の事務分掌

① 庶務係

- ア 職員の服務及び規律に関すること。
- イ 文書の收受及び整理保存に関すること。
- ウ 予算に関すること。
- エ 庁舎の維持管理に関すること。
- オ 備品の使用管理に関すること。
- カ 物品の取扱いに関すること。
- キ その他署の庶務に関すること。

② 警防係

- ア 火災の予防、警戒及び防ぎよ並びにこれらに必要な措置に関すること。
- イ 救急、救助業務の実施に関すること。
- ウ 水防業務に関すること。
- エ 消防の特別警戒に関すること。
- オ その他の災害の防ぎよに関すること。
- カ 消防職員の教養に関すること。
- キ 地理、水利の調査に関すること。
- ク 通信施設設備の保全、管理及び運用に関すること。
- ケ 消防機械装備の管理及び保全に関すること。
- コ 火災及びその他の災害の調査に関すること。
- サ リ災証明及びその他の証明に関すること。
- シ 火災報告及び統計に関すること。
- ス 消防団に関すること。
- セ 各種訓練に関すること。
- ソ その他の警防係の分掌を相当とする事項

③ 予防係

- ア 防火思想の普及宣伝に関すること。
- イ 少量危険物及び指定可燃物等の規制に関すること。
- ウ 火薬類取締法に係る煙火の消費に関すること。
(煙火の消費の許可等に係る事務を除く。)
- エ 各種届出の受理及びこれに係る警戒に関すること。
- オ 建築物の同意に関すること。
- カ 予防査察に関すること。
- キ 消防用設備等の設置、維持及び管理に関すること。
- ク 防火管理に関すること。
- ケ 火災の調査に関すること。
- コ 消防統計及び広報に関すること。
- サ 自衛消防の指導育成に関すること。
- シ 幼年、少年消防クラブ及び婦人防火クラブ等の自主防災組織の指導育成に関すること。
- ス その他予防係の分掌を相当とする事項

2. 消 防 職 員

(1) 消防職員の配置状況

(令和3年4月1日現在)

階級別		消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	計
所属別	消 防 長	1							1
	次 長		1						1
	総 務 課		1		2				3
	警 防 課 (通 信 指 令 室 含)		(1)	3	4	1	3		11
	予 防 課		1	2					3
	研 修 ・ 入 校 等							5	5
	小 計	1	3	5	6	1	3	5	24
曾於消防署	署 長		1						1
	副署長兼庶務係長			1					1
	警 防 係 長			(1)	(1)				
	予 防 係 長				(2)				
	小 隊 長			1	1				2
	副 小 隊 長				4				4
	消防・救急・救助隊長				2(4)				2
	分 隊 長				2	3			5
	隊 員					7	4	8	19
小 計		1	2	9	10	4	8	34	
志布志消防署	署 長		1						1
	副署長兼庶務係長			1					1
	警 防 係 長			(1)	(1)				
	予 防 係 長				(2)				
	小 隊 長			1	1				2
	副 小 隊 長				4				4
	消防・救急・救助隊長				2(4)				2
	分 隊 長				3	3			6
	隊 員					4	8	6	18
小 計		1	2	10	7	8	6	34	
財部分署	分 署 長			1					1
	副 分 署 長				1				1
	分 隊 長				1	1			2
	隊 員					2	2	1	5
	小 計			1	2	3	2	1	9
大崎分署	分 署 長			1					1
	副 分 署 長				1				1
	分 隊 長				2				2
	隊 員					2	3		5
	小 計			1	3	2	3		9
末吉救急分駐所	分 駐 所 長			1					1
	分 駐 所 長 代 理								
	分 隊 長				2				2
	隊 員					2	1	2	5
	小 計			1	2	2	1	2	8
合 計		1	5	12	32	25	21	22	118

() については、兼務者の数を表す。

(2) 消防職員の階級別年齢状況

(令和3年4月1日現在)

年齢	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	総数	年齢別人数										
										1	2	3	4	5	6	7	8	9		
18歳							3		3	1	1	1								
19歳							2		2	1	1									
20歳																				
21歳							1		1	1										
22歳							2		2	1	1									
23歳																				
24歳							2		2	1	1									
25歳							2		2	1	1									
26歳							4		4	2	2									
27歳								2	2	2	2									
28歳								4	4	4	4									
29歳									4	2	2									
30歳					2	3			5	2	2									
31歳						5			5	2	2									
32歳					4				4	2	2									
33歳					3	1			4	2	2									
34歳					3	1			4	2	2									
35歳					1	1			2	1	1									
36歳					3				3	2	2									
37歳				2	2				4	2	2									
38歳				1	1				2	1	1									
39歳				1	3				4	2	2									
40歳				1	2				3	2	2									
41歳				2					2	1	1									
42歳				3					3	2	2									
43歳				4					4	2	2									
44歳				2					2	1	1									
45歳				3					3	2	2									
46歳			1	3	1				5	2	2									
47歳				2					2	1	1									
48歳				5					5	2	2									
49歳			1						1	1	1									
50歳				1					1	1	1									
51歳																				
52歳				2					2	1	1									
53歳			3						3	2	2									
54歳		1	1						2	1	1									
55歳			2						2	1	1									
56歳			2						2	1	1									
57歳		1	1						2	1	1									
58歳	1		1						2	1	1									
59歳		3							3	2	2									
合計	1	5	12	32	25	21	22		118											

(3) 特殊技能資格者の状況

(令和3年4月1日現在)

免許の種別	階級	司令長以上	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計	備考
	職員数	6	12	32	25	21	22	118	
救急救命士		3	9	16	15	7	7	57	
衛生管理者		1		2				3	
危険物取扱者	乙		4	27	19	10	12	72	
	丙		1	4	2	1		8	
消防設備士	甲		1	1				2	
	乙		3	4	2	3		12	
予防技術検定	防火査察	1	1	12	13	5	6	38	
	消防用設備等		1	8	7	1		17	
	危険物		2	5	3	1		11	
運 転	大 型	5	11	31	24	20	13	104	
	中 型	1	1		1	1	2	6	
	大 特	1	2	3		1		7	
	牽 引		2					2	
一級陸上特殊無線技士				1	1			2	
二級陸上特殊無線技士				2	2	1		5	
三級陸上特殊無線技士		3	6	26	14	15		64	
一級小型船舶操縦士						1		1	
二級小型船舶操縦士		2	1	7	3			13	
潜水士		1	3	11	7	4	2	28	
第二種酸素欠乏危険作業主任者			1	2				3	
特定化学物質等作業主任者		3	9	14	5	1		32	
電気工事士				1				1	
ガス溶接技能			2	7	3			12	
アーク溶接技能				1	2			3	
小型ボイラー取扱技能				4				4	
玉掛技能		2	3	20	20	14	5	64	
小型移動式クレーン運転技能		1	5	24	20	14	4	68	
計		24	68	233	163	100	51	639	

(4) 消防職員研修状況

(令和3年4月1日現在)

年 度		平成27年度 以前の実績	平 成 2 8 年 度	平 成 2 9 年 度	平 成 3 0 年 度	令和元年度 (平成31年度)	令 和 2 年 度	計
研修科目								
消 防 大 学 校	新任消防長・学校長科	1						1
	上 級 幹 部 科	1						1
	警 防 科	5						5
	予 防 科	6						6
	救 急 科	3						3
	救 助 科	10		1				11
	火 災 調 査 科	10	1		1			12
	緊急消防援助隊教育課	1						1
	警防業務リーダー講習	3						3
	危機管理・防災教育科	10						10
鹿 児 島 県 消 防 学 校	初 任 教 育	158	4	2	3	3	1	171
	救 急 I 課 程	83						83
	救 急 II 課 程	41						41
	救急科 (救急標準課程)	75	4	4	2	2	3	90
	心 肺 停 止 前 輸 液 , ブドウ糖溶液投与等講習		4	6	6	7	6	29
	ビデオ喉頭鏡講習		4	6	6	7	6	29
	気 管 挿 管 講 習	16						16
	応急手当指導員講習 I	15						15
	警 防 科	18						18
	予 防 科	19						19
	予 防 課 程	3						3
	査 察 課 程	1						1
	予 防 査 察 科	26			2		2	30
	火 災 調 査 科	23	2	2	2		2	31
	無 線 科	47						47
	救 助 科	47	2	2	2		2	55
	は し ご 車 研 修	4						4
	操 法 審 査 員 研 修	93	5		10			108
	初 級 幹 部 科	42			2		2	46
中 級 幹 部 科	23		2				25	
新 任 消 防 長 研 修	1						1	
救 急 救 命 研 修 所	救急救命士養成研修	39	1	1		1		42
	指導救命士養成研修	1		1				2
	心 肺 停 止 前 輸 液 , ブドウ糖溶液投与等講習	1						1
九州地区実務講習会	9	1	1	1			12	
県防災航空センター研修	28	2	2	2			34	
合 計	863	30	30	39	20	24	1,006	

3. 消 防 機 械

(1) 消防用車両

(令和3年4月1日現在)

種 別	区 分	配 備 署 所	車名：年式	型 式	排気量	総重量	ポンプ構造 そ の 他	備 考
水槽付消防ポンプ車	(1号)	曾於消防署	日野23年	BDG-GX7 JGWA改	6.40	9,500	ME-5	鹿児島831 ひ 119
"	(2号)	志布志消防署	日野21年	BDG-GX7 JGWA改	6.40	9,210	GM23	鹿児島831 つ 119
"	(3号)	財部分署	日野28年	TKG-XZU 685M	4.00	6,775	MZI	鹿児島800 す 69-35
"	(4号)	大崎分署	日野29年	TKG-XZU 685M	4.00	6,765	MZI	鹿児島830 さ 20-17
救助工作車	(1号)	曾於消防署	日野20年	BDG-GX7 JGWA改	6.40	10,640		鹿児島831 そ 119
"	(2号)	志布志消防署	日野31年	2KG-GX 2ABA	5.12	11,960		鹿児島830 さ 424
はしご車		志布志消防署	イビコ19年	F4AE0681A	5.88	15,230		鹿児島800 は 989
救急車	(1号)	曾於消防署	日産3年	CBF-CS8 E26改	2.48	3,255	高規格	鹿児島830 も 20-21
"	(2号)	曾於消防署	日産24年	CBF-FPW GE50改	3.49	3,295	高規格	鹿児島830 さ 12-02
"	(4号)	末吉救急分駐所	トヨタ25年	CBF-TRH 226S	2.69	3,215	高規格	鹿児島800 す 45-36
"	(5号)	財部分署	トヨタ28年	CBF-TRH 226S	2.69	3,195	高規格	鹿児島830 さ 20-16
"	(6号)	志布志消防署	日産30年	CBF-FPW GE50改	3.49	3,315	高規格	鹿児島830 さ 20-18
"	(7号)	志布志消防署	日産24年	CBF-FPW GE50改	3.49	3,295	高規格	鹿児島830 せ 12-01
"	(9号)	大崎分署	トヨタ27年	CBF-TRH 226S	2.69	3,185	高規格	鹿児島830 さ 20-15
非常用救急車	(3号)	曾於消防署	日産22年	CBF-FPW GE50改	3.49	3,325	高規格	鹿児島830 せ 20-10
"	(8号)	志布志消防署	日産16年	TC-FPW GE50改	3.49	3,315	高規格	鹿児島830 ふ 119
指揮車	(1号)	消防本部	トヨタ24年	CBF-TRH 221K	2.69	3,075		鹿児島800 す 42-47
"	(2号)	曾於消防署	三菱27年	DBA-CV5W	2.35	2,125		鹿児島800 す 66-98
"	(3号)	志布志消防署	日産28年	LDF-CW8E26	2.48	3,345		鹿児島800 す 74-90
本部連絡車		消防本部	トヨタ26年	DAA-ZVW30	1.79	1,585		鹿児島300 も 75-84
人員搬送車 (ハイエース)		消防本部	トヨタ22年	CBA-TRH 214W	2.69	2,500		鹿児島300 ほ 97-03
人員搬送車		消防本部	三菱3年	2RG-BE740E	2.99	5,085		鹿児島800 せ 860
査察車		消防本部	スバル26年	DBA-SJ5	1.99	1,745		鹿児島300 も 75-89
出張公用車		消防本部	スズキ20年	CBA-MH22S	0.65	1,120		鹿児島580 ち 27-35
資機材搬送車		曾於消防署	三菱2年	2PG-FEB80	2.99	7,015		鹿児島832 ふ 119
資機材搬送車		志布志消防署	三菱30年	TPG-FEB50	2.99	5,135		鹿児島800 す 91-21

(2) 特殊機械

(令和3年4月1日現在)

品名	内容	曾於消防署	志布志消防署	財部分署	大崎分署	末吉救急分駐所	計
消防ホース	40mm	16	10	9	7		42
消防ホース	50mm	38	43	15	11		107
消防ホース	65mm	46	48	7	7		108
空気呼吸器		16	13	3	3		35
酸素呼吸器		3	1				4
簡易呼吸器		2	1				3
空気呼吸器用ポンベ		38	44	9	6		97
救急用酸素ポンベ		25	36	16	18	15	110
耐電衣		3	5				8
耐熱服		2					2
化学防護服		8	22				30
陽圧式化学防護服		5	5				10
放射線防護服		0	2				2
除染シャワー		1	1				2
生物剤検知器一式		0	1				1
救命索発射銃		1	1				2
エアーフォーム	消火薬剤	27	2	0	3		32
エンジンカッター	スチール350	2	1				3
発電機	車載用	2	4	1	1		8
ホース背負器	3本入	1	1				2
ポートパワー	一式	2		1			3
チェーンソー		1	1	1	1		4
チルホーン		1	2	1			4
スロージャン		1	2				3
三連はしご		2	2	1	1		6
かぎ付はしご		1	2				3
ワイヤーはしご		1	1				2
張力計		1	2				3
ガス検知器		1	2	1	1		5
マット型空気ジャッキ	一式	1	1				2
空気式救助マット		1	1				2
油圧スプレッダー		2	1				3
油圧切断機		2	1				3
油圧ポンプ		2	0				2
手動式油圧ポンプ		1	0				1
酸素溶断機		1	1				2
マンホール救助器具		1	2				3
空気鋸	一式	1	1				2
削岩機		1	1				2
削岩機	手動式	1	1				2
ハンマードリル		2	1				3
送排風機		2	2				4
鉄筋カッター		1	1				2
携帯警報機		7	10		3		20
防毒マスク		11	11	3	3	3	31
登山器具	一式	1					1
簡易画像探索装置	ファイバースコープ	1	1				2
半自動式除細動器		3	3	1	1	1	9
自動体外式除細動器	AED	2	2				4
AEDトレーナー		7	7	4	2	2	22
輸液ポンプ		2	2				2
バックボード		4	5	1	2	2	14
人工蘇生器	ミニットマンデマンドバルブ	2	1	1	1		5
マジックギブス		4	3	1	1	1	10
スクープストレッチャー		3	4	1	1	1	10
万能吸引器		5	4	1	1	1	12
レサシアン		11	9	8	5	4	37
自動心マッサージ		3	3	1	1	1	9
心電図等監視モニター		3	4	1	1	1	10
アネロイド血圧計		5	4	1	1	2	13
搬送用保育器	V-80TRアトム	1					1
滅菌器		1	1				2
プロジェクター一式	EPSON	1					1
潜水器具一式			13				13
水中送受信機			1				1
水中受信機							
ウェットスーツ			16				16
ゴムボート	船外機用, それ以外	1	1				2
船外機			1				1
エアーテント	一式	1	1				2
ダイヤモンドチェンソー	一式	1					1

4. 通 信 施 設

(1) 通信施設の機器構成

(令和3年4月1日現在)

設置場所	機 器 名 称	設置場所	機 器 名 称
通信指令室 (本部基地局)	1 指令系装置 (1) 指令制御装置 (2) 非常用指令制御装置 (3) 通信指令台 (4) 防災無線等集中制御装置 2 情報系装置 (1) 自動出動指定装置 (2) 地図等検索装置 (3) データ修正装置 (4) 指令電送送信装置 (5) 指令音声合成装置 (6) 防災無線音声合成装置 (7) 災害状況等自動案内装置 (8) DBX装置 (9) 表示盤制御装置 (10) 多目的情報表示盤 (70IC) (11) 車両運用表示盤 (42IC×2) (12) 支援情報表示盤 (42IC×2) (13) 車両運用管理装置 (14) 車両運用端末装置 (15) 監視カメラ装置 (16) メインサーバ (17) 予備サーバ (18) 経路検索サーバ (19) 統合型位置情報サーバ 3 無線系装置 (1) 無線回線制御装置 (2) 無線統制台 (3) 基地局無線装置 ア 基本架 イ 増設架 (4) 空中線共用器 (5) 同軸SPD (6) 回線多重化装置 (7) 簡易多重無線通信装置 (8) 管理監視制御装置 (9) 遠方監視装置 (10) 被遠方監視装置 (11) 空中線 ア パラボラアンテナ (1.2φ) イ 2段コーリニアアンテナ	曾於消防署	1 指令系装置 (1) 署所端末装置 (2) 駆込み通報用電話 2 情報系装置 (1) 指令電送出力装置 (2) 地図等検索装置 3 無線系装置 (1) 車載型移動局無線装置 (2) 携帯型移動局無線装置 (3) 可搬型移動局無線装置
		志布志消防署	1 指令系装置 (1) 署所端末装置 (2) 駆込み通報用電話 2 情報系装置 (1) 指令電送出力装置 (2) 地図等検索装置 3 無線系装置 (1) 車載型移動局無線装置 (2) 携帯型移動局無線装置 (3) 可搬型移動局無線装置 (4) 卓上型可搬無線装置 (5) 空中線 反射素子付き2段コーリニアアンテナ
		財部分署	1 指令系装置 (1) 署所端末装置 (2) 駆込み通報用電話 2 情報系装置 (1) 指令電送出力装置 (2) 地図等検索装置 3 無線系装置 (1) 車載型移動局無線装置 (2) 携帯型移動局無線装置 (3) 卓上型可搬無線装置 (4) 空中線 反射素子付き2段コーリニアアンテナ
霧岳基地局	1 無線系装置 (1) 基地局無線装置 ア 基本架 イ 増設架 (2) 空中線共用器 (3) 同軸SPD (4) 回線多重化装置 (5) 簡易多重無線通信装置 (6) 管理監視制御装置 (7) 被遠方監視装置 (8) 空中線 ア パラボラアンテナ (1.2φ) イ 反射素子付き2段コーリニアアンテナ	大崎分署	1 指令系装置 (1) 署所端末装置 (2) 駆込み通報用電話 2 情報系装置 (1) 指令電送出力装置 (2) 地図等検索装置 3 無線系装置 (1) 車載型移動局無線装置 (2) 携帯型移動局無線装置 (3) 卓上型受令器 (4) 空中線 ホイップ型アンテナ
		末吉救急分駐所	

(2) 大隅曾於地区消防組合無線局配備状況（デジタル周波数）（FH）（FL）

（令和3年4月1日現在）

所 属	無線局種 別	設 置 場 所	呼 出 し 名 称	空 中 線 電 力 (W)	消 防 波 1	消 防 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1 ~ 3
消 防 本 部	固定局 基地局	通信指令室	そおしょうほんぶ	10	○	○	○	○
	車載型 移動局	指 揮 車	そおしょう 61	10	○	○	○	○
		人員搬送車	そおしょう 63	10	○	○	○	○
		査 察 車	そおしょう 64	10	○	○	○	○
携帯型 移動局		そおしょう 601	5	○	○	○	○	
霧 岳	固定局 基地局	霧 岳 局 舎	そおしょうきりだけ	20	○	○	○	○
曾 於 消 防 署	車載型 移動局	指 揮 車	そおしょう 11	10	○	○	○	○
		タ ン ク 車	そおしょう 12	10	○	○	○	○
		工 作 車	そおしょう 13	10	○	○	○	○
		救 急 車	そおしょう 14	10	○	○	○	○
		救 急 車	そおしょう 15	10	○	○	○	○
		非常用救急車	そおしょう 16	10	○	○	○	○
		資機材搬送	そおしょう 62	10	○	○	○	○
	携帯型 移動局		そおしょう 101	5	○	○	○	○
			そおしょう 102	5	○	○	○	○
			そおしょう 103	5	○	○	○	○
			そおしょう 104	5	○	○	○	○
			そおしょう 105	5	○	○	○	○
			そおしょう 106	5	○	○	○	○
			そおしょう 107	5	○	○	○	○
			そおしょう 108	5	○	○	○	○
			そおしょう 109	5	○	○	○	○
	そおしょう 110	5	○	○	○	○		
可搬型 移動局	指揮所可搬	そおしょう 111	10	○	○	○	○	
財 部 分 署	可搬型 移動局	卓 上 移 動	そおしょう 3	10	○	○	○	○
	車載型 移動局	タ ン ク 車	そおしょう 31	10	○	○	○	○
		救 急 車	そおしょう 32	10	○	○	○	○
	携帯型 移動局		そおしょう 301	5	○	○	○	○
			そおしょう 302	5	○	○	○	○
			そおしょう 303	5	○	○	○	○

末吉救急分駐所	車載型移動局	救急車	そおしょう 21	10	○	○	○	○
	携帯型移動局		そおしょう 201	5	○	○	○	○
志布志消防署	車載型移動局	卓上移動	そおしょう 4	10	○	○	○	○
		指揮車	そおしょう 41	10	○	○	○	○
		タンク車	そおしょう 42	10	○	○	○	○
		工作車	そおしょう 43	10	○	○	○	○
		梯子車	そおしょう 44	10	○	○	○	○
		資機材搬送	そおしょう 45	10	○	○	○	○
		救急車	そおしょう 46	10	○	○	○	○
		救急車	そおしょう 47	10	○	○	○	○
		非常用救急車	そおしょう 48	10	○	○	○	○
	携帯型移動局		そおしょう 401	5	○	○	○	○
			そおしょう 402	5	○	○	○	○
			そおしょう 403	5	○	○	○	○
			そおしょう 404	5	○	○	○	○
			そおしょう 405	5	○	○	○	○
			そおしょう 406	5	○	○	○	○
			そおしょう 407	5	○	○	○	○
			そおしょう 408	5	○	○	○	○
			そおしょう 409	5	○	○	○	○
			そおしょう 410	5	○	○	○	○
		そおしょう 411	5	○	○	○	○	
可搬型移動局	指揮所可搬	そおしょう 412	10	○	○	○	○	
大崎分署	車載型移動局	救急車	そおしょう 51	10	○	○	○	○
		タンク車	そおしょう 52	10	○	○	○	○
	携帯型移動局		そおしょう 501	5	○	○	○	○
			そおしょう 502	5	○	○	○	○
			そおしょう 503	5	○	○	○	○

(3) 大隅曾於地区消防組合無線局配備状況（アナログ周波数）

所 属	無線局種別	呼出し名称	空中線電力 (W)	防災相互波
消防本部	携帯型移動局	しょうぼうそお 1～7	5	○

5. 消 防 財 政

(1) 平成30・31年(令和元年)・令和2年度決算及び令和3年度予算の概況

ア 歳 入

款・項・目	令和3年度 当初予算額 (円)	令和2年度 決算額 (円)	令和元年 (平成31年度) 決算額 (円)	平成30年度 決算額 (円)
1 分担金及び負担金	1,034,206,000	1,030,424,000	1,034,346,000	1,034,457,000
2 使用料及び手数料	1,000,000	1,809,150	1,153,650	949,300
3 国庫支出金	—	—	—	—
4 県支出金	—	—	—	—
5 財産収入	75,000	66,306	1,134,644	358,385
6 繰入金	47,000,000	11,244,000	42,307,000	15,037,000
7 繰越金	3,000,000	3,273,119	3,176,643	3,193,983
8 諸収入	1,800,000	2,150,808	2,243,676	2,648,768
9 組合債	—	28,000,000	—	123,000,000
歳入合計	1,087,081,000	1,076,967,383	1,084,361,613	1,179,644,436

イ 歳 出

款・項・目	節	令和3年度 当初予算額 (円)	令和2年度 決算額 (円)	令和元年 (平成31年度) 決算額 (円)	平成30年度 決算額 (円)	
1 議会費		288,000	252,141	264,358	261,222	
2 議会費	3 議会費	1 報酬	186,000	183,333	196,004	186,000
		9 旅費	98,000	65,028	64,358	71,022
		12 役員費	4,000	3,780	3,996	4,200
2 総務費		13,386,000	17,470,494	17,725,476	17,646,262	
1 総務 1 管理費	1 一般 管理費		13,386,000	17,440,406	17,691,344	17,619,507
		1 報酬	564,000	408,775	409,625	408,775
		9 旅費	165,000	1,800	250,623	159,040
		10 交際費	32,000	—	—	2,700
		19 負担金,補助 及び交付金	351,000	356,700	354,750	357,550
	25 積立金	10,075,000	15,066,306	15,074,644	15,068,385	
2 厚生 福利費	13 委託料	2,156,000	1,606,825	1,601,702	1,623,057	

款・項・目			節	令和3年度 当初予算額 (円)	令和2年度 決算額 (円)	令和元年度 (平成31年度) 決算額 (円)	平成30年度 決算額 (円)	
				43,000	30,088	34,132	26,755	
2	監査委員費	1	監査委員費					
		1	報酬	22,000	22,000	22,000	18,667	
		9	旅費	21,000	8,088	12,132	8,088	
3	消 防 費			1,003,374,000	995,502,435	1,000,728,896	1,100,184,644	
				1,003,374,000	995,502,435	1,000,728,896	1,100,184,644	
	1	常備費	2	給料	418,868,000	414,101,900	412,812,200	412,123,500
			3	職員手当等	328,954,000	319,434,278	320,327,655	319,707,745
			4	共済費	152,636,000	148,322,524	144,138,335	144,097,071
				賃金	—	—	—	1,047,480
			7	報償費	116,000	42,600	87,143	117,562
			8	旅費	5,639,000	3,522,588	4,823,909	5,420,359
			10	需用費	48,383,000	32,305,132	34,016,592	39,588,153
			11	役務費	15,379,000	14,277,527	17,728,467	18,305,050
			12	委託料	18,568,000	17,671,591	16,293,414	19,004,019
			13	使用料及び賃借料	2,896,000	1,889,449	2,123,099	1,894,921
			14	工事請負費	—	—	25,272,000	—
			15	原材料費	50,000	37,109	53,275	101,094
			17	備品購入費	8,882,000	6,790,487	9,424,497	7,155,960
			18	負担金, 補助 及び交付金	985,000	849,050	2,760,910	1,423,330
			21	補償, 補填 及び賠償金	—	—	—	—
			26	公課費	425,000	793,100	420,400	614,600
	2	消防施設費	11	役務費	—	—	—	—
			12	委託料	—	—	—	—
			14	工事請負費	—	—	—	—
			17	備品購入費	1,593,000	35,465,100	10,447,000	129,583,800
4	公 債 費			67,033,000	54,165,966	55,869,764	55,875,665	
				67,033,000	54,165,966	55,869,764	55,875,665	
	1	公債費	1	元金	66,255,000	53,313,968	54,751,798	54,484,901
			22	償還金, 利子 及び割引料				
			2	利子	778,000	851,998	1,117,966	1,390,764
			22	償還金, 利子 及び割引料				
5	予 備 費			3,000,000	—	—	—	
歳 出 合 計				1,087,081,000	1,067,391,036	1,074,588,494	1,173,967,793	

予 防 業 務

1. 防 火 対 象 物 ・ 査 察 等
2. 建 築 確 認 同 意 事 務
3. 防 火 管 理 に つ い て
4. 危 険 物 関 係 事 務
5. 広 報
6. 防 火 ク ラ ブ の 状 況

1. 防火対象物・査察等

(1) 市町別防火対象物数

(令和3年3月31日現在)

項目		市町別				計	曾於市	志布志市	曾於郡 大崎町	査察 回数
1	イ	劇場等	2		2				1	
	ロ	集会場等	97	51	29	17		39		
2	イ	キャバレー等								
	ロ	遊技場等	8	4	2	2		4		
	ハ	風営法店舗等								
3	ニ	カラオケ等	2	1	1			3		
	イ	料理店等	4		3	1				
4	ロ	飲食店	149	67	52	30		31		
		百貨店等	139	75	48	16		73		
5	イ	旅館等	116	54	44	18		57		
	ロ	共同住宅等	319	108	191	20		57		
6	イ	病院等	62	24	30	8		8		
	ロ	老人短期入所施設等	86	40	33	13		34		
	ハ	老人デイサービスセンター等	159	76	50	33		68		
	ニ	特別支援学校等	6	4	1	1		2		
7		学校等	182	80	82	20		95		
8		図書館等	9	4	4	1		7		
9	イ	蒸気浴場等								
	ロ	一般浴場	3	3				3		
10		車両停車場	1		1			1		
11		神社等	29	13	14	2		5		
12	イ	工場等	564	219	231	114		112		
	ロ	スタジオ等								
13	イ	車庫等	60	24	28	8		21		
	ロ	特殊格納庫	0							
14		倉庫	443	147	227	69		122		
15		前各項以外	1,281	638	320	323		164		
16	イ	特定用途複合	166	58	81	27		116		
	ロ	イ以外複合	80	23	38	19		16		
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		文化財								
18		アケード								
合計			3,967	1,713	1,512	742		1,039		

■ 特定防火対象物

(2) 中高層建物の状況

(令和3年3月31日現在)

市町別 区分	曾於市			志布志市			曾於郡 大崎町	合計
	大隅町	財部町	末吉町	松山町	志布志町	有明町		
3階	37	8	25	8	81	17	23	199
4階	7	4	13	1	31	6	6	68
5階	2				27	1	4	34
6階以上					28			28
計	46	12	38	9	167	24	33	329
15m以上	4	2	7	1	40	6	12	72
20m以上	1	1	3	1	50	1	2	59
計	5	3	10	2	90	7	14	131

(3) 火災予防条例に関する届出状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

	件数
少量危険物貯蔵・取扱い届出	45
炉, かまど, ボイラー設置届出	15
火災とまぎらわしい煙又は火煙を発生おそれのある行為の届出	221
煙火打上げ仕掛け届出	54
催物開催届出	1
液化石油ガスに関する意見書交付申請書	
防火安全性に関する通知書交付申請書	
消防用設備等点検結果報告書	1,236
防火管理者選任(解任)届出	94
消防計画作成(変更)届出	99
水素ガスを充填する気球の設備届出	
防火対象物使用開始届出	67
発電, 変電, 蓄電池設備設置届出	37
道路工事届出	309
液化石油ガス, 圧縮アセチレンガス貯蔵・取扱い届出	41
乾燥設備設置届出	1
毒物, 劇物貯蔵又は取扱い開始届出	
指定可燃物貯蔵・取扱い届出	2
露店等の開設届出	8
水道断水, 減水届出	
合計	2,230

(4) 消防法に関する届出状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区 分	件数
工事整備対象設備等着工届出	60
消防用設備等設置届出	165
合計	225

2. 建築確認同意事務

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

工事種別	新築	増築	改築	移転	用途変更	修繕	その他	計
件数	56	16	1					73

3. 防火管理について

(1) 防火管理者選任状況

(令和3年3月31日現在)

区 分		防火管理者が 必要な対象物	防火管理者を選任 している対象物数	選任率 (%)	
1	イ	劇 場 等	1	100.0%	
	ロ	集 会 場 等	69	92.8%	
2	イ	キ ャ バ レ ー 等			
	ロ	遊 技 場 等	8	100.0%	
	ハ	風 営 法 店 舗 等			
3	ニ	カ ラ オ ケ 等	2	50.0%	
	イ	料 理 店 等	1	100.0%	
4	ロ	飲 食 店 等	64	76.6%	
	イ	百 貨 店 等	99	92.9%	
5	イ	旅 館 等	22	95.5%	
	ロ	共 同 住 宅 等	20	80.0%	
6	イ	病 院 等	28	96.4%	
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	71	100.0%	
	ハ	老 人 テ ー マ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	72	94.4%	
	ニ	特 別 支 援 学 校 等	4	100.0%	
7	学 校 等	39	97.4%		
8	図 書 館 等	8	100.0%		
9	イ	蒸 気 浴 場 等			
	ロ	一 般 浴 場	1	100.0%	
10	車 両 停 車 場				
11	神 社 等	10	90.0%		
12	イ	工 場 等	37	91.9%	
	ロ	ス タ ジ オ 等			
13	イ	車 庫 等			
	ロ	特 殊 格 納 庫			
14	倉 庫				
15	前 各 項 以 外	84	82	97.6%	
16	イ	特 定 用 途 複 合	67	59	88.1%
	ロ	イ 以 外 複 合	2	2	100.0%
16の2	地 下 街				
16の3	準 地 下 街				
17	文 化 財				
18	ア ー ケ ー ド				
合 計		709	656	92.5%	

 特定防火対象物

(2) 防火管理者資格証交付状況

(令和3年3月31日現在)

	新規講習交付数	再講習交付数
平成29年度まで	2,867	97
平成30年度	58	6
平成31年度(令和元年度)	43	10
令和2年度	43	7
	3,011	120

(3) 用途別防火管理者資格取得状況

(令和3年3月31日現在)

項目	年度別		平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度
1	イ	劇場等		2	
	ロ	集会場等			
2	イ	キャバレー等			
	ロ	遊技場等	1	1	1
	ハ	風営法店舗等			
3	ニ	カラオケ等			1
	イ	料理店等			
4	ロ	飲食店	3		2
		百貨店等	1	2	
5	イ	旅館等		1	2
	ロ	共同住宅等			
6	イ	病院等	4	3	3
	ロ	老人短期入所施設等	9	4	6
	ハ	老人デイサービスセンター等	6	3	2
	ニ	特別支援学校等	2		
7		学校等	10		7
8		図書館等			
9	イ	蒸気浴場等			
	ロ	一般浴場			
10		車両停車場			
11		神社等			
12	イ	工場等	4	6	6
	ロ	スタジオ等			
13	イ	車庫等			
	ロ	特殊格納庫			
14		倉庫			
15		前各項以外	17	19	13
16	イ	特定用途複合	1	2	
	ロ	イ以外複合			
合計			58	43	43

 特定防火対象物

(4) 防火対象物定期点検報告対象物数

(令和3年3月31日現在)

項 目		第1号対象物数	第2号対象物数	合 計	特例認定数	
1 項	イ	劇 場 等				
	ロ	集 会 場 等	6	6	2	
2 項	イ	キ ャ バ レ ー 等				
	ロ	遊 技 場 等	5	5		
	ハ	風 営 法 店 舗 等				
	ニ	カ ラ オ ケ 等				
3 項	イ	料 理 店 等				
	ロ	飲 食 店	1	1		
4 項		百 貨 店 等	14	14	3	
5 項	イ	旅 館 等	2	1	3	
6 項	イ	病 院 等	2		2	1
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	1		1	1
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等				
	ニ	特 別 支 援 学 校 等				
9 項	イ	蒸 気 浴 場 等				
16 項	イ	特 定 用 途 複 合	5		5	1
16 の 2 項		地 下 街				
合 計			36	1	37	8

第1号対象物：収容人員が300人以上の防火対象物

第2号対象物：収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で、次の要件に該当するもの

1. 特定用途部分が地階又は3階以上に存するもの
2. 階段が2以上設けられていないもの

4. 危険物関係事務

(1) 危険物施設状況及び査察延回数

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区分		曾 於 市			志 布 志 市			曾於郡 大崎町	合計	査察 延回数	
		大隅町	財部町	末吉町	松山町	志布志町	有明町				
製 造 所											
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1		2	1				4	1	
	屋外タンク貯蔵所	14	2	22	3	22	19	24	106	52	
	屋内タンク貯蔵所	1				1		1	3	2	
	地下タンク貯蔵所	6	1	9	1	15	12	10	54	48	
	簡易タンク貯蔵所										
	移動タンク貯蔵所	7	4	17	2	12	7	20	69	25	
	屋 外 貯 蔵 所						1		1		
取 扱 所	給油 取扱所	営業用	9	6	15	8	10	7	14	69	49
		自家用	5	6	7	1	18	6	9	52	1
	第1種販売取扱所										
	第2種販売取扱所						1		1		
	移 送 取 扱 所										
一 般 取 扱 所	9	5	12	1	20	11	8	66	42		
合 計		52	24	84	17	98	64	86	425	220	

(2) 指定数量別危険物施設状況

(令和3年3月31日現在)

区分 倍 数		製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所					合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 1 種 販 売 取 扱 所	第 2 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所
5倍以下			1	25	3	14		41	1	1				39	125
5倍を超え 10倍以下			3	27		16		5		12				16	79
10倍を超え 50倍以下				44		23		17		41		1		11	137
50倍を超え 100倍以下				5		1		6		25					37
100倍を超え 150倍以下				3						20					23
150倍を超え 200倍以下				1						10					11
200倍を超え 1000倍以下				1						12					13
合 計			4	106	3	54		69	1	121		1		66	425

(3) 危険物施設許可等の状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

種 別 区 分		許 可		完成検査		仮使用 承 認	水圧 検査	水張 検査	予防規 程認可
		設置	変更	設置	変更				
製 造 所									
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所								
	屋外タンク貯蔵所		2		2	1		1	
	屋内タンク貯蔵所								
	地下タンク貯蔵所		2		2		1		
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所	2	6	2	6				
	屋 外 貯 蔵 所								
取 扱 所	給 油		12		11	8			2
	取扱所	2	2		2		3		
	第1種販売取扱所								
	第2種販売取扱所								
	移 送 取 扱 所								
	一 般 取 扱 所	3	5	2	5	5			
合 計		7	29	4	28	14	4	1	2

(4) 危険物関係諸届出状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

月 別 区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	危険物保安監督者 選任・解任届出	7	1	7	7		1		1	1	4		1
譲渡引渡届出		2		1	1	3	1		1		1		10
種類・数量変更届出					1				1				2
廃止届出		1	3	4	2	2	4	3	7	1	1	1	29
記載事項変更届出		2	8	28	2	10	3	1	2	1	5	3	65
使用・休止開始届出			3										3
軽微な変更工事届出	4	3	1	7	4	2		6	2	2	3	3	37
仮貯蔵・仮取扱承認申請	4	2	4	6	4	4	5	5	5	3	6	8	56
合 計	15	11	26	53	14	22	13	16	19	11	16	16	232

5. 広 報

1 火災予防運動

令和2年度全国統一防火標語 「 その火事を 防ぐあなたに 金メダル 」

(1) 秋季火災予防運動（令和2年11月9日～15日）

秋季火災予防運動は、「119番の日」（11月9日）からの1週間、次のとおり行事を実施した。

ア 要配慮者宅等防火診断

住宅火災抑止策の一環として、住宅における出火未然防止のため、主に高齢者等の要配慮者家庭を訪問、「住宅防火診断」を実施し、各家庭の防火安全指導を行った。

イ 予防査察

火災予防運動にあわせて、飲食店・物品販売店舗・病院・社会福祉施設等の防火対象物について特別査察を行うとともに、不備欠陥事項については強く改善を指導、火災発生の未然防止を図った。

ウ 避難訓練

各種施設・各事業所・学校等の消火及び避難訓練を支援し、福祉施設・病院等については「夜間における防火管理体制マニュアル」に基づいた検証を実施、防火安全対策の徹底を図った。

エ 防火講話・防火指導

地域の住民に対して、防火講話及び消火器取扱い訓練を実施して、火災予防啓発を図った。

オ 消防団との合同訓練

各消防署においては、管轄各市町消防団と火災等の災害発生に際し、お互いに緊密な連携を保ちながら、災害対策が迅速・適切に行われるよう防災体制の確立を図ることを目的に、協同して訓練を実施した。

カ 広報活動

横断幕設置・各市町防災行政無線及びコミュニティFM放送により出火防止啓発を促すとともに、消防車両による巡回広報を随時行い、防火意識の高揚を図った。

また、通勤時間帯に各署所付近の交差点で職員が旗を持ち火災予防を訴えた。

(2) 春季火災予防運動（令和3年3月1日～7日）

春季火災予防運動は、3月1日からの1週間であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら次のとおり行事を実施した。

ア 要配慮者宅等防火診断

住宅防火対策の一環として要配慮者宅を訪問や電話による「住宅防火診断」を実施し、火気使用時の注意点及び器具の点検実施の必要性を訴え、出火危険の排除・防火指導を行った。

イ 予防査察

火災予防運動にあわせて、飲食店・物品販売店舗等の防火対象物について特別査察を行うとともに、不備欠陥事項については強く改善を指導、火災発生の未然防止を図った。

ウ 広報活動

横断幕設置・各市町防災行政無線及びコミュニティFM放送により出火防止啓発を促すとともに、消防車両による巡回広報を行いながら、枯れ草焼却等火入れの時に、林野・その他火災の

発生を未然に防止するため管内を巡視し、火災警戒を行った。

また、通勤時間帯に各署所付近の交差点で職員が旗を持ち火災予防を訴えた。

2 救急指導・防火講話・避難訓練等指導状況

各事業所・学校・地域住民等を通じて救急指導や防火講話及び消火器取扱い訓練等を実施して、火災予防啓発を図った。

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区 分	回 数	対象者数 (人)
救 急 指 導	56	1,111
防 火 講 話 ・ 避 難 訓 練 等	121	10,301
合 計	177	11,412

3 住宅防火診断状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

署 所 別	住宅防火診断 (件)
曾 於 消 防 署	31
財 部 分 署	15
末吉救急分駐所	10
志布志消防署	30
大 崎 分 署	10
合 計	96

6. 防火クラブの状況

1 幼年消防クラブ

幼年者に消防研修を行い、火に対する正しいしつけを身につけさせ、保育園及び各家庭からの火災の減少を図るとともに、将来人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地をかん養することを目的とする。

(1) クラブ結成状況 (令和3年4月1日現在)

ク ラ ブ の 名 称	結成年月日	クラブ員数	所 在 地
カトリック志布志幼稚園幼年消防クラブ	H4.11.11	16名	志布志市志布志町

(2) クラブの活動

- ア 幼年消防として必要な消防研修
- イ 火災予防に関する広報活動

2 少年消防クラブ

少年少女に対して明朗で活発な気風を育成し、併せて火災予防の普及徹底及び一般防火思想の向上を図り、少年少女の教育に寄与することを目的とする。

(1) 少年消防クラブ結成状況 (令和3年4月1日現在)

ク ラ ブ の 名 称	結成年月日	クラブ員数	所 在 地
山重小少年消防クラブ	S56.8.11	14名	志布志市有明町

(2) クラブの活動

- ア 規律訓練活動を通じ、日常の礼儀作法及び正しい姿勢並びに体力づくり
- イ 救急処置勉強会、消火訓練
- ウ 研修、見学及びレクリエーション
- エ 火災予防活動

火 災 状 況

1. 火 災 の 概 況
2. 火 災 の 原 因
3. 火災発生状況比較（出火率）
4. 気 象 概 況

1. 火災の概況

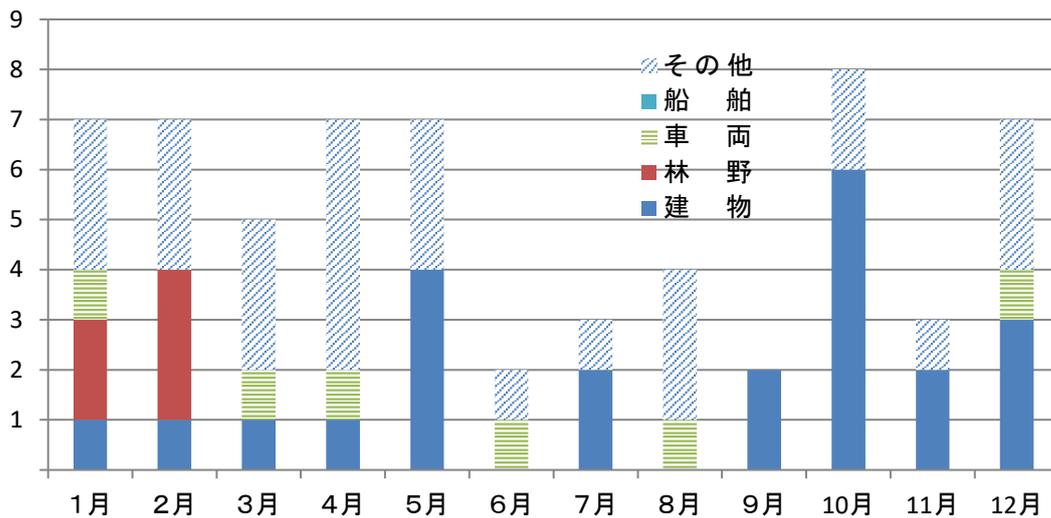
(1) 火災概況の前年比較

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

区 分	令 和 2 年	平成31年・令和元年	前年との比較 (△減)		
火災件数	建物	23	27	△ 4	
	林野	5		5	
	車両	6	6	0	
	船舶			0	
	その他	28	3	25	
	計	62	36	26	
焼損棟数	全焼	32	24	8	
	半焼	1	3	△ 2	
	部分焼	15	13	2	
	ぼや	6	7	△ 1	
	計	54	47	7	
り災世帯	全損	10	9	1	
	半損		2	△ 2	
	小損	7	8	△ 1	
	計	17	19	△ 2	
り災人員	31	29	2		
死者			0		
負傷者	3	8	△ 5		
焼損面積	建物	床面積 (㎡)	2,445	2,527	△ 82
		表面積 (㎡)	86	56	30
	林野 (a)	20		20	
焼損車両 (台)	12	8	4		
焼損船舶 (隻・艘)			0		
損害額 (千円)	建物	76,341	62,117	14,224	
	林野			0	
	車両	1,350	2,485	△ 1,135	
	船舶			0	
	その他	16,666	1	16,665	
	計	94,357	64,603	29,754	

(2) 月別火災発生状況

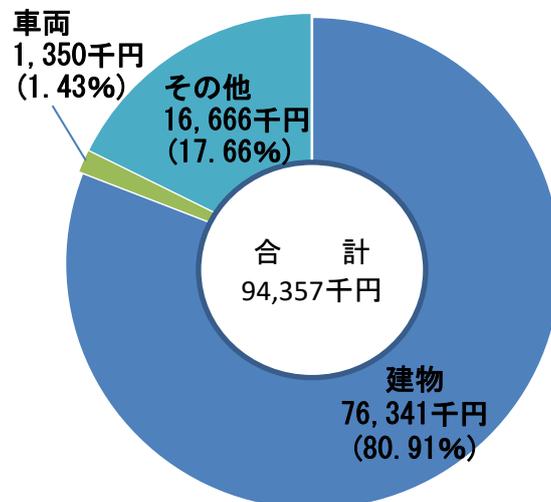
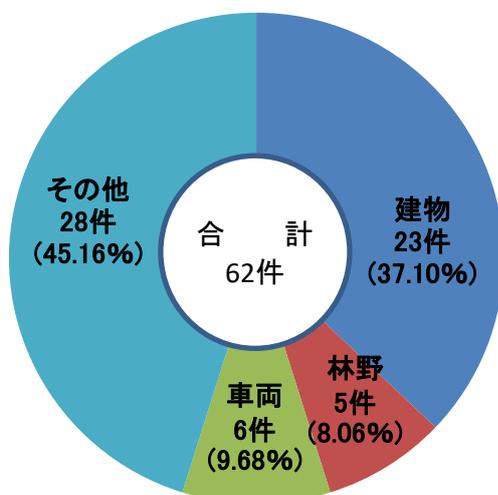
(令和2年1月1日～令和2年12月31日)



月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
月計	7	7	5	7	7	2	3	4	2	8	3	7	62
建物	1	1	1	1	4		2		2	6	2	3	23
林野	2	3											5
車両	1		1	1		1		1				1	6
船舶													
その他	3	3	3	5	3	1	1	3		2	1	3	28

(3) 火災種別件数

(4) 火災種別損害額



(5) 市町別火災概況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

市町別 区 分		計	曾 於 市			志 布 志 市			曾於郡 大崎町
			大隅町	財部町	末吉町	松山町	志布志町	有明町	
火 災 件 数	建 物	23	4	6	2		4	1	6
	林 野	5	2		3				
	車 両	6	1	1		1	1		2
	船 舶								
	そ の 他	28	4	3	7	4	2	1	7
	計	62	11	10	12	5	7	2	15
焼 損 棟 数	全 焼	32	7	4	3		12	1	5
	半 焼	1		1					
	部 分 焼	15	3	3	2		4		3
	ぼ や	6		1			2		3
	計	54	10	9	5		18	1	11
り 災 世 帯	全 損	10	1	1	1		4		3
	半 損								
	小 損	7	2				1		4
	計	17	3	1	1		5		7
り 災 人 員		31	6	1	2		11		11
死 者									
負 傷 者		3	1			1	1		
焼 損 面 積	建 物 床面積 (m ²)	2,445	678	475	249		676	15	352
	表面積 (m ²)	86	20	23	16		16		11
	林 野 (a)	20	6		3	9	2		
焼損車両 (台)		12	2	2	2	1	3		2
焼損船舶 (隻・艘)									
損 害 額 (千円)	建 物	76,341	7,882	31,448	13,561		16,346	76	7,028
	林 野								
	車 両	1,350	332	393		140	235		250
	船 舶								
	そ の 他	16,666			157		1		16,508
	計	94,357	8,214	31,841	13,718	140	16,582	76	23,786

(6) 月別・時間別火災発生件数

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

月別 時間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
0～1					1								1
1～2												1	1
2～3						1						1	2
3～4						1							1
4～5	1						1						2
5～6													
6～7										1			1
7～8			1							1			2
8～9									1	2			3
9～10	1				1			1					3
10～11								1	1	1		1	4
11～12	1	2	1	1	1					1			7
12～13	2			1	1							2	6
13～14		2									1	1	4
14～15	1	3	1	2	1					1		1	10
15～16			1	1	1			1					4
16～17	1		1	1									3
17～18													
18～19											1		1
19～20								1			1		2
20～21													
21～22													
22～23					1		1						2
23～24				1									1
不 明							1			1			2
小 計	7	7	5	7	7	2	3	4	2	8	3	7	62

(7) 気象別火災発生件数

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

月別 気象		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
		天	晴	6	6	2	6	5		1	4	1	7	1
曇	1		1	3	1	2	1			1	1	2	1	14
雨							1	2						3
雪														
小計	7		7	5	7	7	2	3	4	2	8	3	7	62
風	無風													
	1	4	1		2	2	1	1	3	1	5	1	3	24
	2	3	3	2	2	1		2		1	2	2	2	20
	3		2	2	3	2	1		1		1		2	14
	4		1	1		1								3
	5													
	6													
	7					1								1
	8 m 以上													
	小計	7	7	5	7	7	2	3	4	2	8	3	7	62
風	無風													
	東						1						1	2
	西	2											1	3
	南		4	2				2			1	2		11
	北		1		2	1					1			5
	北東	1		1					1	1	4		1	9
	北西	2	1	2	3	3		1	1		1	1	3	18
	南東	1			1	3			1		1			7
	南西	1	1		1		1		1	1			1	7
	小計	7	7	5	7	7	2	3	4	2	8	3	7	62

2. 火災の原因

年別 原因別	平成 30年	平成 31年 (令和元年)	令和 2年	年別 原因別	平成 30年	平成 31年 (令和元年)	令和 2年
	たばこ	4			2	配線器具	2
こんろ	1		2	交通機関内配線			
かまど	1			火あそび			2
風呂かまど	2	7	2	マッチ・ライター	2	1	3
炉				たき火	2		1
焼却炉		1	2	溶接機・切断機			
ストーブ	1			灯火	1	1	2
こたつ	2	1		衝突の火花			
ボイラー				取灰		1	
煙突・煙道				火入れ	2	3	21
排気管				放火			1
電気機器		1	4	放火の疑い		1	2
電気装置				その他	3	8	11
電灯・電話等配線	2	1		不明	3	9	5
内燃機関			2	計	28	36	62

管内の出火原因の主なものは、風呂かまど・その他・不明が上位を占めている。

3. 火災発生状況比較(出火率)

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

区分	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	出火率
全国	34,678	19,358	1,239	3,465	77		10,539	2.89
鹿児島県	666	296	36	58	3		273	4.19
管内	62	23	5	6			28	7.75

出火率：人口1万人当たりの出火件数をいう。

4. 気象概況

(1) 管内の気象注意報及び気象警報等

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
		気 象 注 意 報	風雪											
強風	2		1	1	4	2	1			4	2	1	1	19
大雨						1	10	5	1	4				21
大雪														
濃霧														
雷	3		2	2	3	4	19	20	9	15	1	3		81
乾燥			6	8	18	2					2	6	14	56
霜														
高潮														
波浪														
洪水						1	1	2	1	1				6
津波														
気 象 警 報	暴風									1				1
	大雨					2	2	8	1	2				15
	大雪													
	高潮													
	波浪									1				1
	洪水					1	1	2		1				5
	津波													
火災気象通報		1	7	9	15	3					6	6	16	63
火災警報														

(2) 曾於消防署

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
		晴	17	14	13	19	10	6	7	22	6	24	23	18
曇	11	8	13	10	16	13	11	6	15	7	6	13	129	
雨	3	7	5	1	5	11	13	3	9		1		58	
その他														
風速	2m以下	15	12	12	14	15	16	18	23	18	17	15	13	188
	5m以下	15	17	16	15	16	14	13	8	9	13	15	18	169
	10m以下			3						3	1			7
	20m以下	1			1									2
	20m以上													
最多風向	N	N	NE	NW	NW	NW	SW	N	SE	N	NE	N		
降雨量	一日最高	18.5	34.5	30.5	37	153.5	141	179.5	87	116.5	22.5	21	17.5	
	月計	77	129	163	91	301	709.5	992.5	242	420	50	64.5	29	3,268.5
気温	最高	19	21	22	24	29	32	34	38	32	30	26	19	
	最低	-3	-3	-1	2	9	16	16	21	14	6	2	-4	
湿度	最低	24	17	23	12	8	36	48	30	39	30	28	17	
	平均	82	82	79	67	79	90	90	81	88	81	83	75	(庁舎屋上)

(3) 志布志消防署

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
		晴	18	14	14	21	19	10	9	25	10	22	23	19
曇	8	10	10	8	8	8	7	4	14	6	6	5	94	
雨	5	5	7	1	4	12	15	2	6	3	1	7	68	
その他														
風速	2m以下	15	12	15	11	12	17	23	21	11	16	21	17	191
	5m以下	15	14	13	16	16	13	6	10	18	12	9	9	151
	10m以下	1	3	3	3	2				1	3		5	21
	20m以下					1		1						2
	20m以上							1						1
最多風向	NW	NE	NW	NE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	NE	NW	
降雨量	一日最高	19	27.5	27.5	24	111	102.5	202.5	106	78.5	12.5	10	5.5	
	月計	70.5	128.5	169	78.5	207.5	618	1,049	225.5	405.5	56	11	16.5	3,035
気温	最高	17	20	21	23	28	30	32	35	30	28	25	18	
	最低	9	10	10	14	22	20	20	27	21	15	11	5	
湿度	最低	35	20	32	33	28	50	61	54	42	33	31	28	
	平均	59	57	58	49	63	77	80	68	72	60	59	55	(庁舎屋上)

救 助 状 況

1. 救 助 の 概 況

1. 救助の概況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

市町別 区分	管内合計		曾於市						志布志市						曾大 於崎 郡町		管 外	
			大 隅 町		財 部 町		末 吉 町		松 山 町		志 布 志 町		有 明 町					
	2 年	31・元 年	2 年	31・元 年	2 年	31・元 年	2 年	31・元 年	2 年	31・元 年	2 年	31・元 年	2 年	31・元 年	2 年	31・元 年	2 年	31・元 年
出動件数	57	70	9	13	4	6	12	12	2	7	12	14	8	12	9	4	1	2
火災	建物																	
	建物以外																	
交通事故	27	42	6	7	3	4	7	7	1	6	4	7	4	7	1	3	1	1
水難事故	5	2					1				2	2			2			
自然事故	6	4	1	2			1	2			2		2					
機械事故	7	3				1	1				1		1	1	4	1		
建物事故																		
ガス酸欠																		
爆発事故																		
その他	12	19	2	4	1	1	2	3	1	1	3	5	1	4	2			1
要救助者傷病程度及び人員	死亡	6	4		2			2			1	2			1	2		
	重症	7	15	1			2	1	2	1	2		3	3	4	1	2	
	中等症	6	11	1	3		2	3			2	2	1		3			
	軽症	4	3	2	1				1				2	1				

令和2年の出動件数は57件で、平成31年・令和元年の70件と比較すると13件の減少である。事故種別では、交通事故の27件（47%）が最も多く、次にその他の12件（21%）である。

救 急 状 況

1. 月別救急出場件数
2. 事故種別搬送人員
3. 年齢別搬送人員
4. 市町別救急出場状況
5. 救急覚知状況
6. 傷病の程度
7. 収容所要時間状況
8. 曜日別出場状況
9. 急病の疾病別搬送人員
10. 発生時刻別出場状況
11. 収容先医療機関の所在地調べ
12. 電話転送回数状況
13. 転送者に関する調べ
14. 普通救命講習受講者調べ

1. 月別救急出場件数

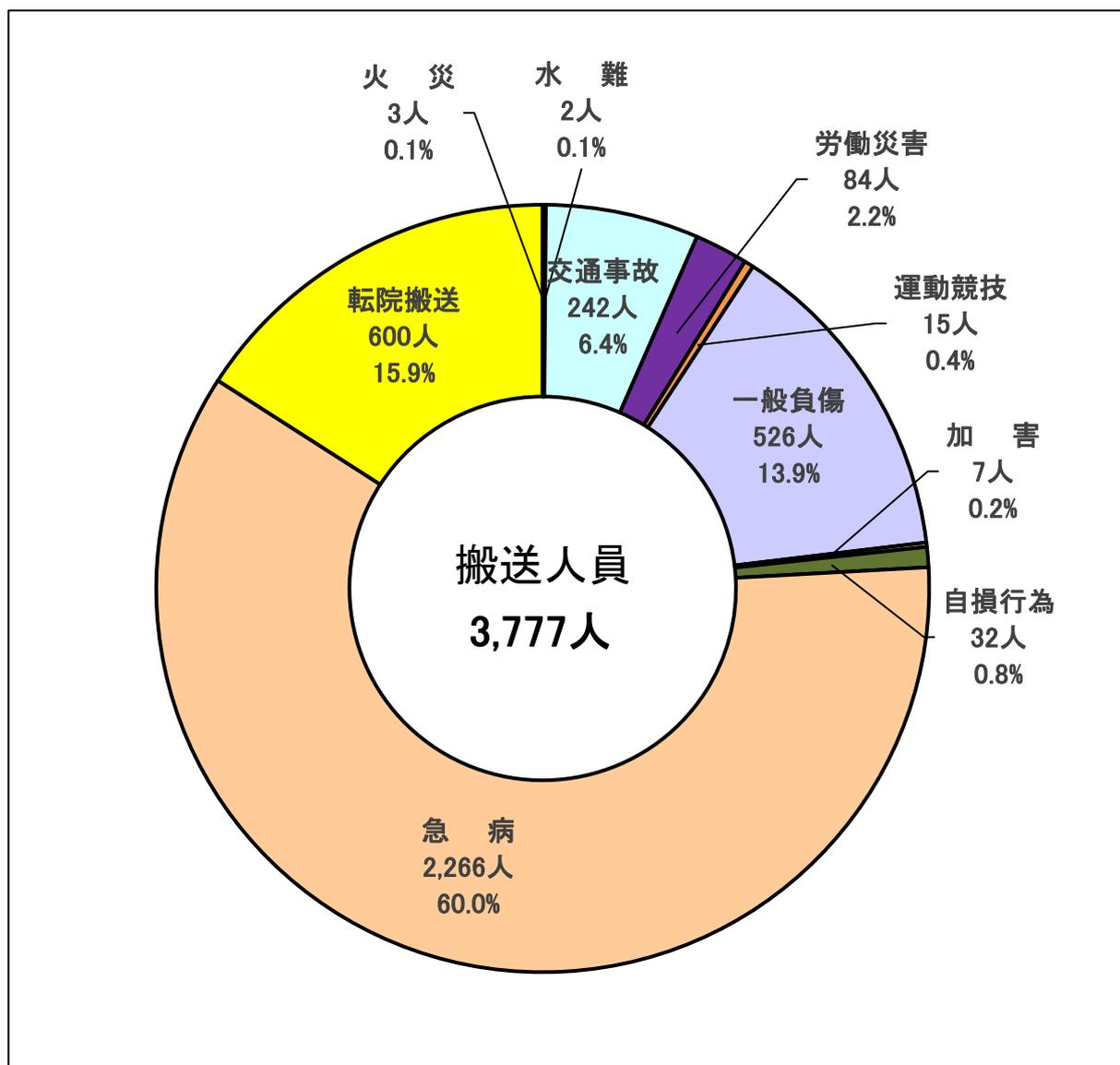
令和2年の出場件数は、4,083件（1日平均11件）で、前年の4,362件と比較すると279件減少、搬送人員は、3,777人で前年より302人減少した。

なお、事故種別では、急病2,462件（60%）が最も多く、次に転院搬送601件（15%）、一般負傷550件（13%）、交通事故298件（7%）の順となっている。

事故種別	月別												令和 2 年	平令 成和 31・元 年	平成 30 年	
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月				
火 災							1			1	1		3	4	2	
自然災害							2						2	1	1	
水 難					1		1	1			1		4	3	4	
交通事故	16	25	12	28	17	39	32	38	18	21	32	20	298	326	358	
労働災害	7	4	4	5	7	4	7	22	10	6	5	4	85	101	88	
運動競技		1				3	3	2	1	1	3	1	15	27	22	
一般負傷	53	55	38	43	45	32	37	35	55	52	59	46	550	592	618	
加 害		1	2	1				1			1	1	7	14	10	
自損行為	3	5	5	3	7	2	2	4	3	5	8	5	52	58	28	
急 病	248	213	208	168	170	198	193	242	188	201	202	231	2,462	2,696	2,746	
そ の 他	転院搬送	53	55	46	26	35	51	51	59	70	66	47	42	601	539	476
	医師搬送				1									1		
	資機材等 輸 送															
	そ の 他		1				1		1					3	1	1
出 場 件 数	380	360	315	275	282	330	329	405	345	353	359	350	4,083	4,362	4,354	
不搬送件数	22	34	23	35	24	25	26	39	25	25	20	34	332	302	272	

2. 事故種別搬送人員

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)



3. 年齢別搬送人員

年齢	生後28日以内 (新生児)	満7歳未満 (乳幼児)	満18歳未満 (少年)	満65歳未満 (成人)	満65歳以上 (老人)	合計
人員	1	93	91	965	2,627	3,777

4. 市町別救急出場状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

事故種別 市町別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				令和2年	不搬送	平成31・元年	
												転院搬送	医師搬送	資器等器材送	その他				
曾於市	大隅町	件数	1		48	10	1	74	1	4	348	144				631	32	666	
		人員	1		42	10	1	69	1	2	331	144				601		633	
	財部町	件数			26	5		46	1	6	207	40				331	24	411	
		人員			22	5		43	1	5	193	40				309		389	
	末吉町	件数		1	1	81	14	1	88	1	10	424	203	1		1	826	70	868
		人員				63	14	1	83	1	7	389	202				760		821
志布志市	松山町	件数	1		8	2	1	26		5	118					161	13	171	
		人員	1		7	2	1	25		3	110					149		159	
	志布志町	件数	1		2	48	23	7	141	1	8	555	116			2	904	94	985
		人員	1		2	41	23	7	134	1	3	495	116				823		904
	有明町	件数				45	13	2	68	2	8	313	54				505	41	540
		人員				33	12	2	68	2	8	287	54				466		502
曾大於崎郡	件数		1	1	37	18	3	106	1	11	495	44				717	54	717	
	人員				31	18	3	104	1	4	460	44				665		669	
その他	件数				5			1			2					8	4	4	
	人員				3						1					4		2	
合計	件数	3	2	4	298	85	15	550	7	52	2,462	601	1		3	4,083	332	4,362	
	人員	3		2	242	84	15	526	7	32	2,266	600				3,777		4,079	

件数は出場件数，人員は搬送人員をいう。

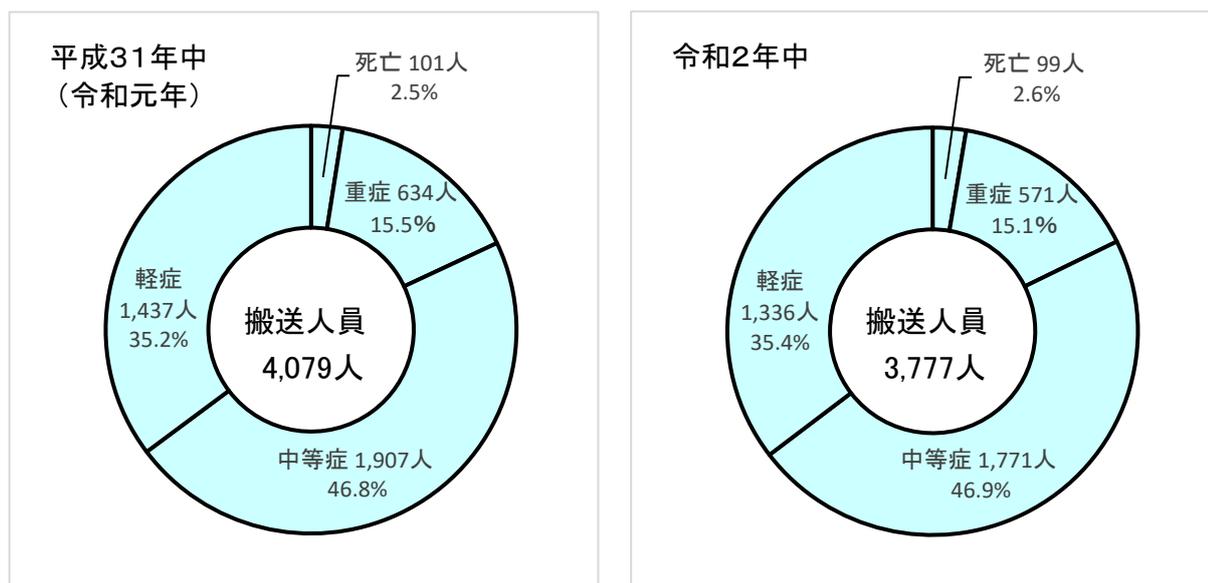
5. 救急覚知状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

覚知方法	件数	比率 (%)
119	1,398	34.2
携帯119	1,741	42.7
加入電話	879	21.5
駆付け	52	1.3
自己覚知	9	0.2
その他	4	0.1
合計	4,083	100.0

6. 傷病の程度

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)



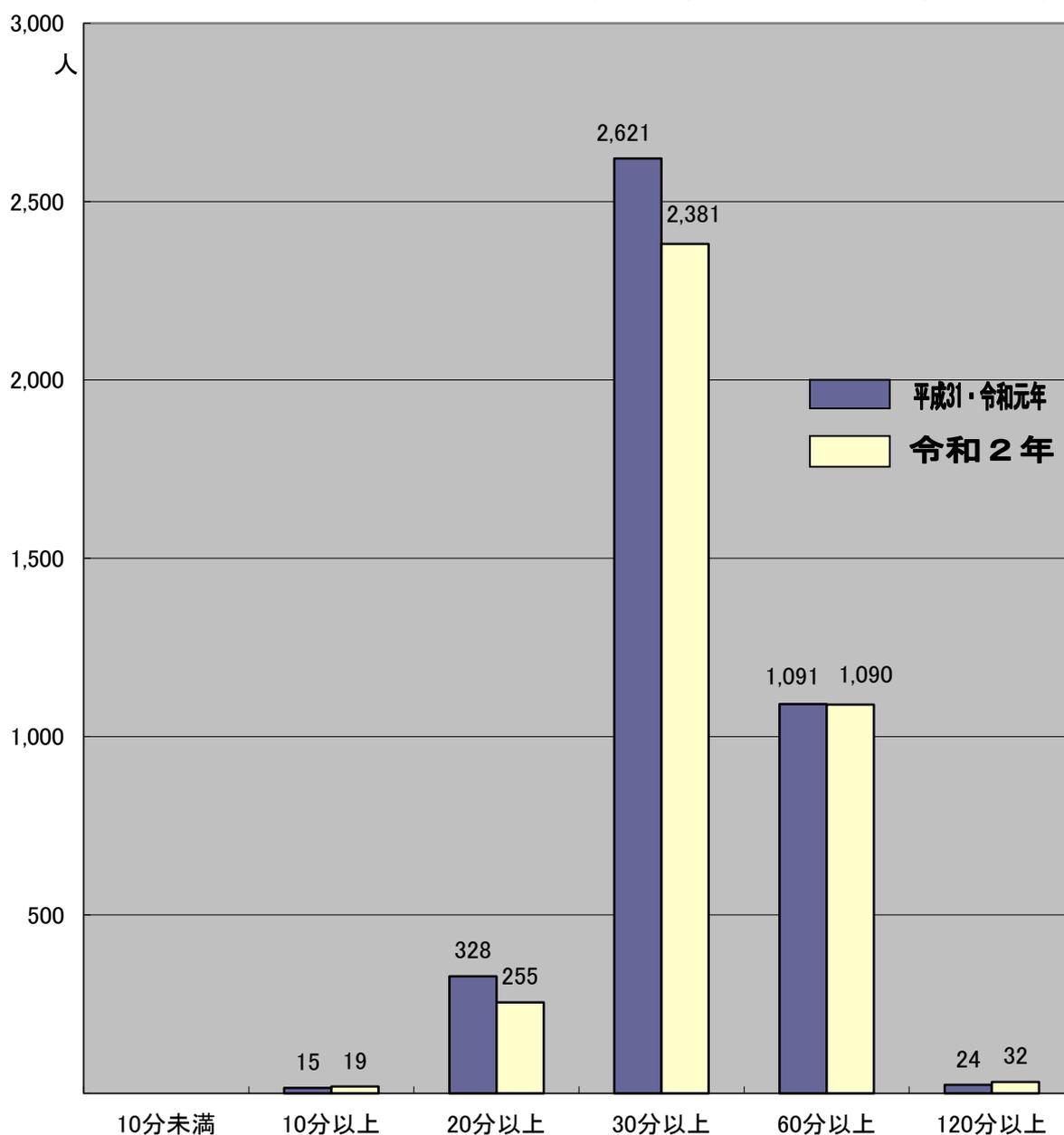
重症：傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症：傷病程度が重症又は軽症以外のもの

軽症：傷病程度が入院加療を必要としないもの

7. 収容所要時間状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)



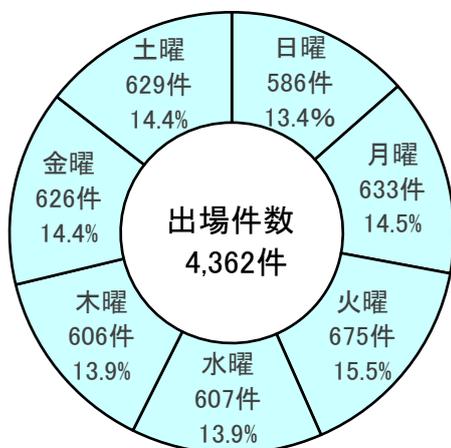
区分 年別	計 (人)	10分未満	10分以上 ＼ 20分未満	20分以上 ＼ 30分未満	30分以上 ＼ 60分未満	60分以上 ＼ 120分未満	120分以上
		令和2年	3,777		19	255	2,381
平成31・令和元年	4,079		15	328	2,621	1,091	24

収容所要時間：119番通報を受けてから医療機関に収容するまでに要した時間

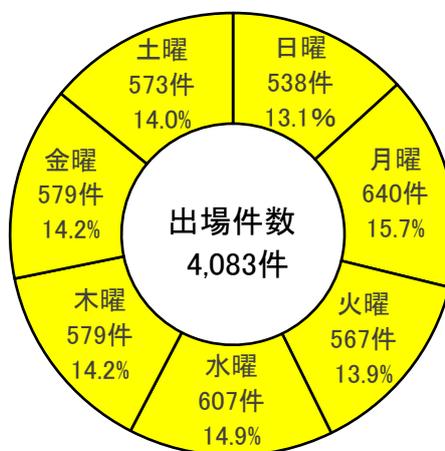
8. 曜日別出場状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

平成31年・令和元年中



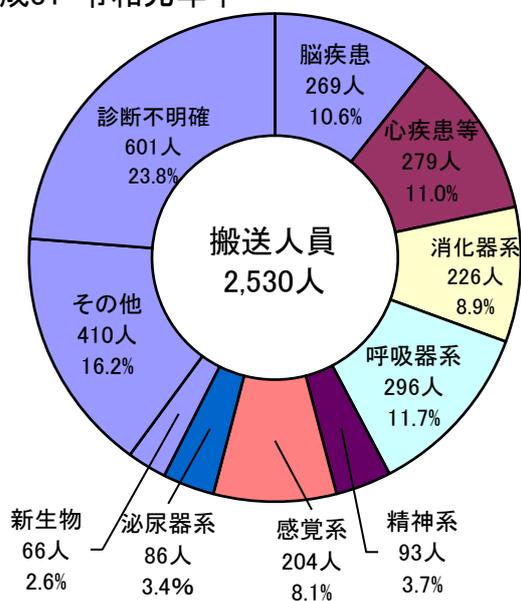
令和2年中



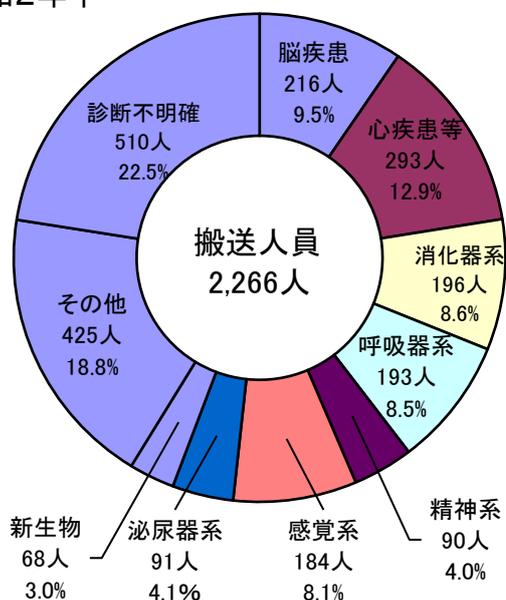
9. 急病の疾病別搬送人員

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

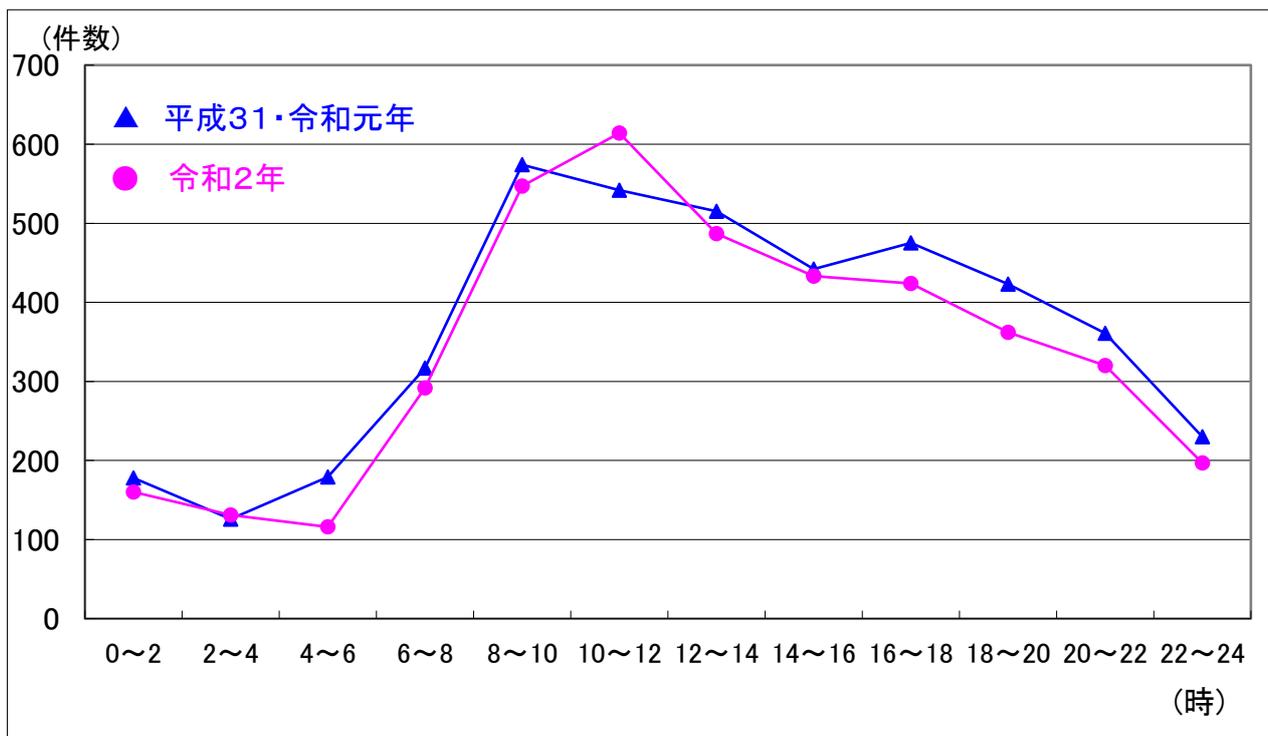
平成31・令和元年中



令和2年中



10. 発生時刻別出場状況



(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

事故種別	時間	合計												
		0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	
合計	4,083	160	131	116	292	547	614	487	433	424	362	320	197	
火災	3					1					1	1		
自然災害	2					2								
水難	4				1				3					
交通事故	298	5	1	4	33	46	54	40	29	54	14	12	6	
労働災害	85	1	1	2	1	18	17	10	16	11	4	3	1	
運動競技	15					1	6	2	3	1		2		
一般負傷	550	27	12	13	37	69	71	72	65	62	52	48	22	
加害	7	2		1							1	3		
自損行為	52	5	3	1	3	5	8	8	2	8	5	1	3	
急病	2,462	112	110	92	213	307	302	247	225	213	254	236	151	
の	転院搬送	601	8	3	3	4	98	156	108	89	75	31	12	14
	医師搬送	1								1				
	資器材等輸送	0												
	その他	3		1									2	

11. 収容先医療機関の所在地調べ

(1) 事故種別 (人員)

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

事故種別	地区別							計
	管内	都城市	鹿屋市 肝属郡	鹿児島市	宮崎市 串間市	霧島市 始良市	その他	
火災	1	2						3
自然災害								
水難	2							2
交通事故	141	49	34	11	3	4		242
労働災害	39	16	16	13				84
運動競技	10		5					15
一般負傷	334	65	116	7	1	3		526
加害	6	1						7
自損行為	24	2	5	1				32
急病	1,233	338	624	42	9	20		2,266
転院搬送	149	172	241	26	3	9		600
その他								
合計	1,939	645	1,041	100	16	36		3,777
比率 (%)	51.3%	17.1%	27.6%	2.6%	0.4%	1.0%		100%

(2) 署・分署・分駐所別 (人員)

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

署・分署・ 分駐所別	地区別							計
	管内	都城市	鹿屋市 肝属郡	鹿児島市	宮崎市 串間市	霧島市 始良市	その他	
曾於消防署	547	133	172	38	2	17		909
財部分署	118	213	1	7		10		349
末吉救急分駐所	304	248	41	10		4		607
志布志消防署	672	33	369	29	13	4		1,120
大崎分署	298	18	458	16	1	1		792
合計	1,939	645	1,041	100	16	36		3,777

12. 電話転送回数状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

転送回数	0	1～3	4～6	7～10	11～15	16以上	合計
搬送人員	2,921 (77.3%)	791 (20.9%)	53 (1.4%)	11 (0.3%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	3,777 (100.0%)

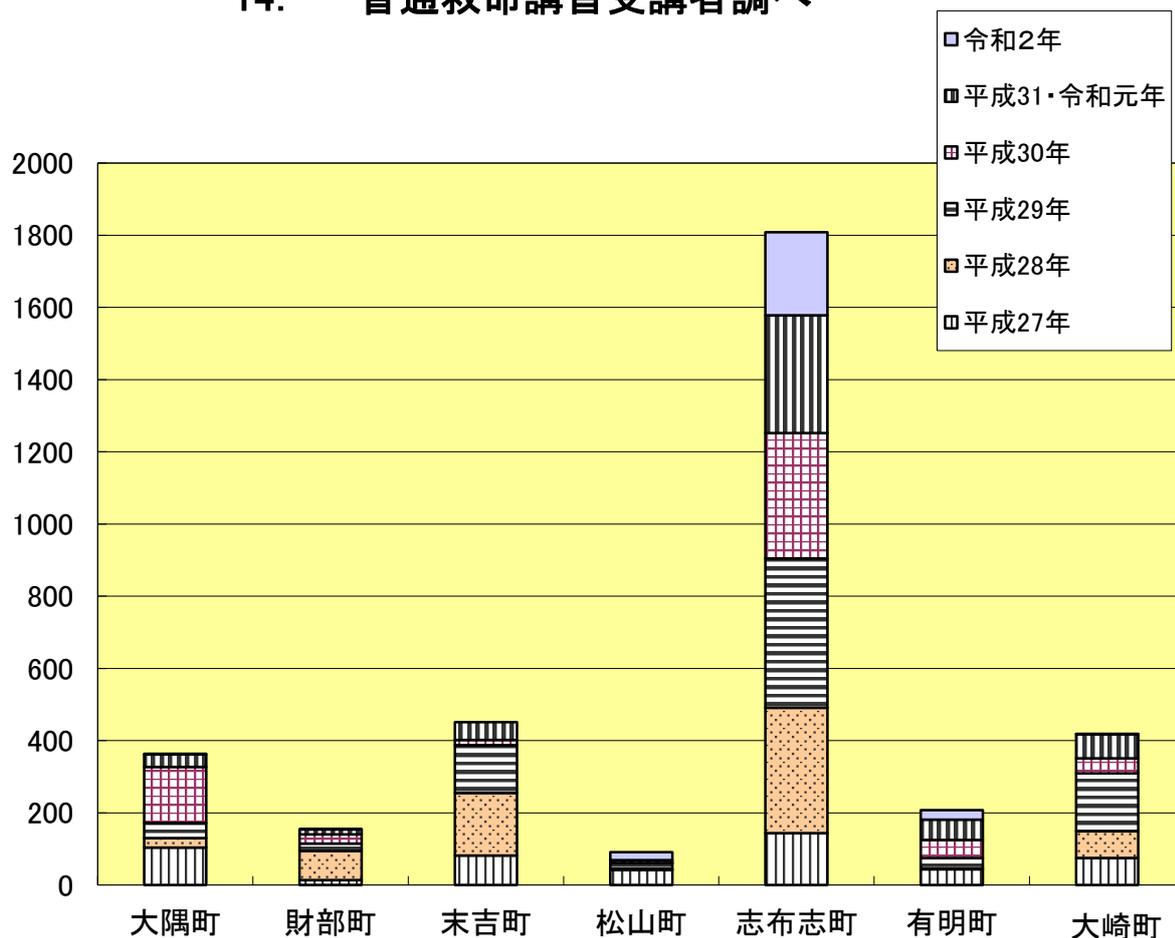
電話転送回数0回とは、消防署が収容先を1件目で手配したもの及び傷病者、要請病院等が収容先をすでに手配済のものをいう。

13. 転送者に関する調べ

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

事故種別	転送理由 人 員	転 送 理 由					
		ベッド満床	専門外	手術中	処置困難	理由不明	その他
交通事故							
一般負傷	1						1
急病	17	8			8		1
その他							
合計	18	8			8		2

14. 普通救命講習受講者調べ



市町別 年別	曾於市			志布志市			曾於郡 大崎町	計
	大隅町	財部町	末吉町	松山町	志布志町	有明町		
令和2年	2	1		22	230	26	1	282
平成31・令和元年	35	14	49	8	326	56	67	555
平成30年	155	25	15	1	347	50	42	635
平成29年	42	21	132	15	414	29	160	813
平成28年	26	80	173	3	347	3	74	706
平成27年	104	14	82	42	144	43	75	504
計	364	155	451	91	1,808	207	419	3,495

消 防 団

1. 管 内 消 防 団 現 勢
2. 消防団員の年齢及び在職年数
3. 消防団員の報酬及び費用弁償
4. 消 防 水 利
5. 消 防 団 支 援 状 況

1. 管内消防団現勢

(1) 人員及び機械の状況

(令和3年4月1日現在)

区分 市町別		人 員		機 械					
		定 員	現 員	指揮車	タンク車	ポンプ車	積載車	小型動力ポンプ	運搬車
曾 於 市	大隅方面隊	233	210	1	1	6	9	18	6
	財部方面隊	155	148	1	2	4	7	8	1
	末吉方面隊	220	211	1	1	2	10	14	3
	女性消防隊	12	7						
	小 計	620	576	3	4	12	26	40	10
志 布 志 市	松山方面隊	90	81	1		3	8	8	
	志布志方面隊	242	210	1	2	3	11	11	
	有明方面隊	148	143	1		4	9	9	
	女性消防隊	15	10				軽1		
	小 計	495	444	3	2	10	29	28	
曾於郡大崎町		240	222	1	2	3	13	18	
合 計		1,355	1,242	7	8	25	68	86	10

(2) 消防団各分団の人員・機械配置一覧表 (全管内)

(令和3年4月1日現在)

市町別	方面	分 団 名	本部	中央	麓	菅牟田	筈木	北	神牟礼	恒吉	南	月野			計	
曾於市	大隅方面隊	現 員	3	22	30	19	21	31	17	19	19	29			210	
		指 揮 車	1												1	
		タンク車			1										1	
		ポンプ自動車		1	1		1	1		1		1			6	
		積 載 車		1	1	1		1	1	1	1	1	2		9	
		小型動力ポンプ		1	1	2	2	2	2	3	3	2			18	
		運 搬 車				1	1	1	1	1	1				6	
	財部方面隊	分 団 名	本部	中央	七村	宇都	南	北	中谷							計
		現 員	3	35	24	19	27	20	20							148
		指 揮 車	1													1
		タンク車		2												2
		ポンプ自動車		1	1	1				1						4
		積 載 車			1	1	2	2	1							7
		小型動力ポンプ			1	1	2	2	2							8
	運 搬 車		1												1	
	末吉方面隊	分 団 名	本部	中央	橋野	諏訪	檜	柿木	高岡	岩北	岩南	光神	友常	深川	柳迫	計
		現 員	3	37	15	16	15	14	14	16	16	17	16	16	16	211
		指 揮 車	1													1
		タンク車		1												1
		ポンプ自動車		1			1									2
		積 載 車			1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	10
小型動力ポンプ			1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	14	
運 搬 車		1				1				1				3		
女性消防隊	分 団 名	本部													計	
現 員	7														7	
志布志市	松山方面隊	分 団 名	本部	新橋	泰野	尾野見										計
		現 員	2	32	22	25										81
		指 揮 車	1													1
		タンク車														
		ポンプ自動車		1	1	1										3
		積 載 車		4	2	2										8
		小型動力ポンプ		4	2	2										8
	運 搬 車															
	志布志方面隊	分 団 名	本部	中央	安楽	夏井陣岳	帖五区	森山	田之浦四浦	満ヶ野八野						計
		現 員	2	27	36	24	23	22	27	49						210
		指 揮 車	1													1
		タンク車		2												2
		ポンプ自動車		3												3
		積 載 車		1	2	2	1	1	2	2						11
		小型動力ポンプ		1	2	2	1	1	2	2						11
	運 搬 車															
	有明方面隊	分 団 名	本部	第1	第2	第3	第4									計
		現 員	3	35	36	33	36									143
		指 揮 車	1													1
		タンク車														
		ポンプ自動車		1	1	1	1									4
積 載 車			2	3	1	3									9	
小型動力ポンプ			2	3	1	3									9	
運 搬 車																
女性消防隊	分 団 名	本部													計	
現 員	10														10	
積 載 車	1														1	
曾於郡大崎町	分 団 名	本部	中央	持留	大丸	中沖	野方	菱田	特設						計	
	現 員	3	40	18	25	27	41	35	33						222	
	指 揮 車	1													1	
	タンク車		1				1								2	
	ポンプ自動車		1				1	1							3	
	積 載 車		2	3	2	2	2	1	1						13	
	小型動力ポンプ		3	4	3	3	3	2							18	
運 搬 車																

2. 消防団員の年齢及び在職年数

(1) 消防団員の年齢

(令和3年4月1日現在)

市町別	年齢							
	20歳未満	20歳～25歳	26歳～31歳	32歳～37歳	38歳～43歳	44歳～49歳	50歳以上	計
曾 於 市	2	25	62	127	139	87	134	576
志 布 志 市	2	13	35	77	97	76	144	444
曾 於 郡 大 崎 町	1	11	33	45	62	24	46	222
合 計	5	49	130	249	298	187	324	1,242

(2) 消防団員の在職年数

(令和3年4月1日現在)

市町別	年数							
	5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年～25年未満	25年～30年未満	30年以上	計
曾 於 市	144	124	113	84	62	30	19	576
志 布 志 市	94	108	80	61	38	33	30	444
曾 於 郡 大 崎 町	70	52	30	32	12	10	16	222
合 計	308	284	223	177	112	73	65	1,242

3. 消防団員の報酬及び費用弁償

単位：円（令和3年4月1日現在）

区分 市町別	団長	方 面 隊長格 副団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	機関員 その他	出動 手当
曾 於 市	186,300	176,900	119,100	107,200	63,000	53,100	50,100	47,200	タ・ポ 5,000 積 4,000 小 3,000 ラ 4,000	5,100
志布志市	195,600	186,300	119,100	107,200	63,000	53,100	50,100	47,200	機 9,000 ラ 4,300	5,100
曾 於 郡 大 崎 町	186,300		119,100	107,200	63,000	53,100	50,100	47,200	機 6,000 ラ 4,200	5,100

タ：タンク車，ポ：ポンプ車，積：積載車，小：小型動力ポンプ，ラ：ラッパ隊，機：機関員

4. 消 防 水 利

（令和3年4月1日現在）

市町別	種 別		消 火 栓			防 火 水 槽			プール その他
	公 設	私 設	20m ³ ~39m ³	40m ³ ~99m ³	100m ³ 以上				
曾 於 市	505		938	267	1	24			
志 布 志 市	594		410	134		22			
曾於郡大崎町	240		228	107		11			
合 計	1,339		1,576	508	1	57			

5. 消 防 団 支 援 状 況

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

署・分署別 区 分	支 援 状 況				計
	曾 於 消 防 署	志 布 志 消 防 署	財 部 分 署	大 崎 分 署	
ポンプ操法					
規律訓練	1	1	1		3
団 教 養					
出初式支援					
消防記念日					
団合同訓練		1			1
計	1	2	1		4

令和2年版 消防年報

編集発行 〒899-8102

鹿児島県曾於市大隅町岩川5950番地

大隅曾於地区消防組合 消防本部総務課

代 表 099(482)0119

総務課 099(482)0569

FAX 099(482)2712

E-mail fdsoh-s3@po3.synapse.ne.jp